

平成29年度 事業報告



社会福祉法人札幌市社会福祉協議会

平成29年度事業報告

<平成29年4月1日～平成30年3月31日>

I 事業報告の概要

(1) 地域見守りサポーター養成研修

市・区社協の職員が講師となり、出前講座を開催しています。福まち活動者の確保にも大きく貢献しています。

受講者数は全市で9,900名となり、まもなく目標の1万人に到達します。

(2) 福まちコーディネート機能強化事業

誰もが自分らしく活躍できる地域づくりを進めながら、困りごとを抱えた人々を地域の支え合いや専門機関のサービスなどの適切な支援へとつなぐための「調整力」いかに高めるかについて、北星学園大学の畑教授の講演やグループワークを通して多くの福まち関係者が学びました。

(3) 地域見守りネットワーク推進会議

関係する地域組織や民間事業者の代表者などが集まり、具体的な連携方法について協議・検討するための会議を開催しています。また、全市的にモデル地区を1地区（西区八軒中央地区）指定し、具体的な連携方法を検証するための実践も進めており、地域と事業者（ヤクルトやセブンイレブン）が日頃から情報共有しそれぞれの見守りに活かしていくためのノウハウ蓄積が進んでいます。

(4) ふれあい・いきいきサロンの登録及び助成

高齢者や子育て親子等が定期的に集い、交流を通して互いに支え合い孤立死や悪質商法、認知症などの防止や早期発見等に成果を上げています。事業開始から16年経過し、全市のサロン登録数は、704サロンまで増えました。

(5) 生涯現役セミナー(11月20日)

シニア世代の地域デビューやボランティア活動への参加を促進することを目的に、既存講座の「シニア世代のためのボランティア研修」と連動させて今年度初めて開催しました。

日本野球機構審判技術委員 山崎夏生さんと北海道医療大学准教授 長谷川聡さんから現役で活躍し続けられることの素晴らしさや魅力、そのための準備や心構えについてお話をいただきました。

参加者には後継講座である「シニア世代のためのボランティア講座」に受講された方もおり、シニア世代の地域・ボランティア活動に対して重層的な支援を行うことができました。

(6) ふくし読本・福祉教育（ふくし学習ハンドブック）改訂・発行

子どもたちへの福祉の理解の促進を目的に、これまでの副読本（小学校5,6年生向け）を全面改訂のうえ、あらたに「ふくし読本」を作成しました。併せて、小学校等における福祉教育（ふくし学習）を進めるための手引書として、教員を対象とした「福祉教育（ふくし学習）ハンドブック」も併せて発行しました。

作成にあたっては、教育委員会や小学校教員、福祉関係団体や障がい当事者による「作成委員会」を組織し、4回にわたって検討してきました。

(7) 札幌市生活支援体制整備事業

2ヶ月に1度各区生活支援コーディネーターが集まり、進捗状況の報告、情報交換を行っています。また、フォローアップ研修を開催し、住民ワークショップの具体的な進め方などについて学びました。

12月には支え合いを広げる地域づくりシンポジウム(12月18日)を開催し、公益財団法人さわやか福祉財団 堀田 力会長を招き、市民に住民主体による支え合いの意識向上を図りました。

(8) 市民後見推進事業

基礎研修・実務研修合わせて13日間に及ぶ研修を実施しました。

研修の後半には、「後見実務に必要な書類作成」を学ぶ講義、実習「家庭裁判所の見学」といった後見活動の実践的な内容を学びました。

9月から2月にかけての7カ月間、受講者の皆さんは緊張感を持ちつつ意欲的に学び、テスト、面接等を経て、札幌市市民後見人の登録名簿に記載されました。

(9) 札幌市社会福祉総合センター管理運営事業

総合センターをより多くの方に幅広く利用していただくために、1階アトリウムの活性化に取り組んでいます。様々な講座や作業所の販売、相談コーナー、コンサートなど、年間で延べ12,800名を超える方がアトリウムを利用しました。

単に利用者が増加したということではなく、これまで総合センターを利用したことがない新たな方の利用にもつながっています。

(10) 在宅福祉サービスの実施

市内8ヶ所(中央、北、東、白石・厚別・清田、豊平、南、西、手稲)の事業所では、訪問介護(介護予防訪問介護)や居宅介護支援(介護予防居宅介護支援)を提供しています。支援を必要とする方やその家族が在宅で安心して暮らしていただけるよう、職員一人ひとりが常に研鑽を積みチームとして高いレベルの支援を提供できるよう努めています。

(11) 養育支援員派遣事業

札幌市児童相談所からの委託事業として、児童虐待等の問題を抱える家族に対し、問題の悪化や再発を防ぐため、札幌市の措置決定によりヘルパー派遣をする養育支援員派遣事業を12月から実施しています。当会では、まず主任ヘルパー職が業務委託にあたっての説明および研修を受けて対応をしていくこととなります。

(12) 札幌市地域包括支援センター運営事業

南区第3地域包括支援センターが今年度末をもって受託法人が運営を返上したことから、新たに受託法人の公募がありました。

本会はこれに申請を行い、8月に受託の決定を受けました。

平成30年度からは新たに受託した拠点も含め市内27ヶ所の内、9ヶ所の地域包括支援センターを運営することとなります。

(13) 札幌市保養センター駒岡管理運営事業

保養センター駒岡では、地域の皆さんの協力にも協力いただきながら、様々なイベントを開催しています。特にたくさんの方にご参加いただいた秋と冬のお祭りでは、こまおか朝市やコンサート、ビアガーデン・縁日コーナー、ビンゴ大会などを企画し来場者から好評をいただきました。

(14) 広報誌「やさしい街」発行事業

広報紙「やさしい街」は今年度から紙面を一新し、福祉関係者の関心が高いテーマや、賛助会員の企業などが取り組む活動を取り上げ、社協や福祉について理解を深めてもらえる社協ならではの広報紙づくりに取り組むと共に、より効果的な情報発信を図るために送付先や送付方法の見直しを進めています。

(15) 札幌市情報センター管理運営（学生レポーター事業）

若い世代に関心を持ってもらうことを狙いに、学生レポーターによる福祉情報の発信を通じ、情報センターの機能強化に取り組んでいます。今年度はホームページの「学生レポーター通信」更新や情報紙「ウェルウェル」の発行の他、読書通帳の配布や覆面本の企画、お仕事体験など情報センターを知ってもらい、利用してもらうための様々な企画も展開しました。

(16) ふくし用具機器展 in さっぽろ 2017 (11月17～18日)

高齢者や障がいのある方が住み慣れた地域で安全安心に暮らしていくために、「福祉用具」を身近なものとして知ってもらうことを目的として、最新の福祉用具の展示や、各種セミナーを行いました。今年は「介護ロボット」を目玉に500点を超える福祉用具を展示し、昨年を上回る1,300名の方が来場しました。

(17) シンボルマークの作成

平成28年度から継続して活動している市社協広報戦略会議の提案により、市社協の魅力をより多くの方に伝えるためにシンボルマークを作成しました。3月28日開催の理事会評議員会で承認をいただき、30年度からはバッジなど具体的な展開を進めます。

(18) 社会福祉施設内定者向け合同オリエンテーション (2月24日)

施設福祉部会の事業として今年度初めて開催しました。種別を問わず福祉施設では人材の確保に課題を抱えている中で、実際に働きはじめる前に福祉で働く仲間との繋がりを作り実践の場に出る不安を和らげると共に、社会人としての心構えを学ぶ場として、講演やグループワークを企画しました。会の最後には秋元札幌市長からのビデオメッセージも届き参加者のモチベーションの向上につながりました。

Ⅱ 重点事業項目

A さっぽろ市民福祉活動計画の推進

1 市民がお互いに支え合う活動の推進

- (1) 福祉のまち推進事業の充実
- (2) 福祉除雪事業の充実
- (3) ボランティア活動の振興・普及の強化
- (4) 市民参加型在宅福祉サービス活動の推進
- (5) 札幌市生活支援体制整備事業の実施

2 福祉的な支援を必要とする方々を支える活動の推進

- (1) 高齢者・障がい者生活あんしん支援センターの運営
- (2) 日常生活自立支援事業の推進
- (3) 成年後見に関する事業の推進
- (4) 市民後見推進事業の実施
- (5) 権利擁護を推進する各種相談事業の推進
- (6) 福祉サービスの質の向上
- (7) 各種資金貸付事業の推進

3 地域の社会資源との連携・協働によるネットワークの推進

- (1) 市民への福祉情報の提供と広報・啓発活動の充実強化
- (2) 障がい者関係団体ネットワーク事業の実施
- (3) 企業・市民が参加しやすい福祉貢献の環境づくり
- (4) 札幌ときめき大学の開校
- (5) 障がい者講師等養成・派遣事業
- (6) 老人福祉センターを拠点としたボランティア活動及びシニアの社会参加促進
- (7) 札幌市介護サポートポイント事業
- (8) 福祉用具機器展 in さっぽろの開催
- (9) 「さっぽろ市民福祉活動計画」の策定推進
- (10) ファンドレイジングの取り組み

B 在宅福祉サービス事業の推進

1 自主事業による在宅福祉サービスの提供

- (1) 地域支え合い有償ボランティア事業
- (2) さわやかヘルプサービス

2 介護保険法等による在宅福祉サービスの提供

- (1) 訪問介護、介護予防訪問介護及び札幌市日常生活支援総合事業
- (2) 地域密着型サービス事業
- (3) 居宅介護支援及び介護予防支援事業
- (4) 特定入居者生活介護及び介護予防特定施設入居者生活介護事業
- (5) 通所介護、介護予防通所介護及び札幌市日常生活支援総合事業
- (6) 医療保険法等による訪問看護、介護保険法による訪問看護及び介護予防訪問看護事業
- (7) 障害者総合支援法による在宅福祉サービス事業

3 札幌市からの委託による各種保健福祉事業の提供

- (1) 札幌市高齢者生活支援型ホームヘルプサービス事業
- (2) 札幌市地域包括支援センター運営事業
- (3) 札幌市介護予防センター運営事業
- (4) 自主活動化支援事業【新規事業】
- (5) 生活機能向上支援事業【新規事業】
- (6) 札幌市短期集中予防型訪問指導事業【新規事業】
- (7) 札幌市要介護認定調査事務事業
- (8) 札幌市高齢者生活支援型ショートステイ事業
- (9) さっぽろ子育てサポートセンター事業

4 在宅支援に関する研修事業の推進

C 施設を中心とした高齢者福祉サービス事業等の推進

- 1 養護老人ホーム札幌市長生園管理運営事業（措置による入所者の支援）
- 2 老人福祉センター管理運営事業
- 3 老人休養ホーム札幌市保養センター駒岡管理運営事業

D 組織体制の強化

- 1 経営強化の取組み
- 2 職員育成の強化

Ⅲ 計画事業項目

1 市民がお互いに支え合う活動の実現

〔1〕地区社協の活動強化

福祉のまち推進事業の充実《A1(1)》

福祉のまち推進事業は、区社協及び地区福祉のまち推進センターを中核として、町内会・自治会における見守り・訪問活動や、除雪やごみ出しなどの日常生活支援活動の充実に力を注いでまいりました。

独居世帯や認知症の増加、介護保険制度の改正といった環境変化が見込まれる中、多様化する市民ニーズに柔軟に対応していく仕組みづくりが求められております。企業等との連携を強化するなどして、見守り・訪問活動及び日常生活支援活動の輪を更に広げつつ、個別支援にも取り組んでいく体制づくりを進めていきます。



(1) 地区福祉活動座談会の開催

各区社会福祉協議会において、グループワーク等の内容を中心に地区単位での開催に向けた支援の実施

《区別 座談会開催地区(回)数》

区	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
地区数	3	4	2	5	1	2	2	10	1	2	32
(回数)	(6)	(7)	(4)	(7)	(3)	(3)	(3)	(13)	(4)	(4)	(54)

(2) 地域福祉のネットワークづくりへの支援

①地域の福祉活動計画づくりの検証

ア 30年度からの本会新計画に基づく実践に向けて職員間での情報共有

イ 福まち担当者会議での情報共有

・日時場所：6月8日 14:00～17:00 市社協会議室

・主な内容：北区・新川地区での実践について情報共有

〔2〕福祉のまち推進事業の充実(区・地区福祉のまち推進センター支援事業)

(1) 単位町内会範囲の組織(福祉推進委員会等)づくりの推進

《福祉推進委員会設置状況推移》

	導入地区数・設置単町	単町単位設置地区	ブロック単位設置地区
H24	72地区 1,175単町	66地区 927単町	6地区/25ブロック 198単町範囲
H25	76地区 1,200単町	70地区 1,002単町	6地区/27ブロック 198単町範囲
H26	82地区 1,296単町	76地区 1,101単町	6地区/31ブロック 195単町範囲
H27	76地区 1,255単町	70地区 1,087単町	31地区/ブロック 168単町範囲
H28	77地区 1,270単町	71地区 1,103単町	6地区/31ブロック 167単町範囲

H29	集計中（各地区からの実績報告提出が30年6月以降となるため）				
≪福まち活動者の推移≫ 〔単位：名〕					
	合計	運営委員	福祉推進員	住民協力員	その他
H24	12,297	1,803	6,233	4,005	256
H25	12,796	1,776	6,868	3,718	434
H26	13,166	1,749	6,979	3,925	513
H27	13,255	1,818	7,149	3,780	508
H28	13,356	1,805	7,495	3,656	400
H29	集計中（各地区からの実績報告提出が30年6月以降となるため）				

（２）福まち発 地域福祉市民活動フォーラムの開催

〔開催日〕平成29年9月13日

〔場 所〕札幌市民ホール

〔内 容〕

・基調講演

「地域共生社会の実現に向けて

～「公助」「共助」「自助」のあり方を考える～

（講 師）北翔大学 生涯スポーツ学部 健康福祉学科 教授 林 恭裕 氏

・シンポジウム（実践発表）

「今後の地区福祉のまち推進センターの役割を考える」

（発表者）北 区 太平百合が原地区福祉のまち推進センター 事務局長 鈴木 誠 氏
 豊平区 西岡地区福祉のまち推進センター 副センター長 大友 壽子 氏

〔参加者〕935名

（３）福まちウィーク事業の実施

①福まち活動パネル展の開催

〔内 容〕福まちに対する市民理解と活動への参加促進を図ることを目的に、福まち活動の様子を記録した写真パネル等の展示を「福まちウィーク」期間中に開催。

〔展示期間〕平成29年9月9日～15日

〔展示場所〕オーロラスクエア

②福まち活動写真及び広報紙コンクールの開催

〔内 容〕福まち活動の様子を記録した「活動写真」と地区での取り組みを紹介した「広報紙」のコンクール及び作品の展示を通じて、福まち実践者の取り組みを賞賛し、多くの市民に地区福まち活動に対する理解と参加促進を図ることを目的に開催。

〔展示期間〕平成29年9月9日～15日

〔展示場所〕オーロラスクエア

〔応募数〕（写 真）42地区76作品、14単位町内会20作品
 （広報紙）40地区40作品

〔受賞団体〕

（写真部門／地区福まちな部）

- ・札幌市長賞：菊水地区福まち 札幌市社協会賞：曙地区福まち
- ・審査委員特別賞 2地区 佳 作 6地区

H27	62,779	33,452	2,110	355	1,651	80	25,131
H28	66,408	38,160	2,113	159	1,510	40	24,426
H29	集計中（各地区からの実績報告提出が30年6月以降となるため）						

②企業等への働きかけ（担い手の確保・育成）

〔内 容〕毎月3日を「見守り・訪問の日」として制定し、市民が「見守り・訪問活動」を意識し、日常生活に取り入れてもらえるよう、地区福まちと一体となったPR活動を行うと共に、企業等への働きかけを行う。

〔作成物〕ポスター（A2版850枚・A3版（縦）430枚・（横）50枚）

〔掲示企業〕・北海道新聞社 販売局 : 100枚
 ・明治安田生命保険 相互会社 札幌支社 : 45枚
 ・株式会社 セブン-イレブン-ジャパン : 340枚
 ・佐川急便 株式会社 : 10枚
 ・株式会社 ツルハホールディングス : 101枚
 ・株式会社 セコマ（セイコーマート） : 350枚
 ・株式会社 エンパイアー : 80枚
 ・北海道コカ・コーラボトリング 株式会社 : 50枚
 ・第一生命保険 株式会社 : 20枚
 ・区社協・区役所・区民センター・地区福まち
 消防署（出張所含む） : 170枚

③新たな福祉人材の発掘への支援（地域守りサポーター養成研修）

○地域見守りサポーター養成研修の実施

〔内 容〕日常生活の中で「なんとなく気にかける」程度の見守りにより高齢者等の安否を確認し異変に気づいた際には、行政や地域の民生委員等に連絡する「地域見守りサポーター」を養成することを目的に実施。

また、サポーターの養成を通じて、福まち活動の理解促進と今後の担い手の発掘にもつながるよう事業展開を図っている。

〔単位：名・回〕

区 分	平成29年度	平成28年度
受講者数	682	874
実施回数	26	26

[単位：名・団体]

		単町	連町	福祉推進委員会	福祉のまち推進センター	地区社会福祉協議会	老人クラブ	民生委員児童協議会	ボランティア団体	企業	学校	その他	合計
29年度	人	55	0	9	70	0	80	0	12	32	180	244	682
	団体	4	0	1	2	0	3	0	1	2	1	12	26
合計 (H22年度から)	人	1,272	363	140	1,071	266	1,169	260	154	1,090	1,822	2,293	9,900
	団体	59	8	9	25	5	33	9	7	12	10	68	245

(5) 福まちコーディネーター機能強化事業の実施

〔内 容〕 今後の地区福まち活動に重要となる「コーディネーター機能」を強化するための取組として、地区福まちの関係者が、「福まちにおけるコーディネーター機能の必要性・重要性」について、理解と共通認識を高めるための研修会を昨年度に引き続き開催する。

①地区福まちコーディネーター機能強化にかかわる区別研修会の開催・支援

〈参加対象・定員〉

- ・対象：各地区の代表者（地区社協会長等、地区福まちセンターの運営委員長・事務局長・部会員等）や、地域の関係組織（町内会・民児協等）、福祉・医療の専門機関等
- ・定員：概ね100～200名程度

〈区別研修会の基本的な開催内容：講義→実践発表〉

- ・講 義：講師は区社協職員等（60分）
テーマ「地区福まちにおけるコーディネーター機能の強化に向けて」
- ・実践発表：2名〔福まち活動者と民児協・企業・学校関係者等〕（60分）
テーマ「地域の組織間と社会資源との連携
～新たな人材の発掘確保に向けて～」

〈区別研修会の開催支援に向けた区社協訪問〉

- ・東 区（6月28日）・豊平区（7月 5日）・中央区（7月 7日）
- ・厚別区（7月11日）・白石区（7月13日）・清田区（7月14日）
- ・北 区（7月19日）・南 区（7月20日）・西 区（7月20日）
- ・手稲区（7月21日）

〈区別研修会の開催：基本的な開催内容：講義→実践発表〉

	日時・場所	講義（講師：区社協職員等）	実践発表（福まち活動者）	参加人数(名)
中央区	12/8 札幌ビューホテル 大通公園	地区福まちにおけるコーディネーター機能の強化について ・区社協 事務局次長	単位町内会が福まちに求める役割について ・中央地区福まちセンター 堀川理事 ・山鼻第11町内会 森久保 社会福祉部長	172
北区	12/4 区民センター ホール	地区福まちにおけるコーディネーター機能の強化について ・区社協 事務局次長	地域の組織間と社会資源との連携 新たな人材の発掘確保に向けて ・拓北・あいの里地区社協 若山会長	97
東区	12/8 区民センター ホール	地区福まちにおけるコーディネーター機能の強化について ・区社協 事務局次長	福まちと町内会の連携 ～札幌地区・苗穂地区の報告～ ・札幌地区社協 林 事務局長 ・苗穂地区福まち 吉 運営委員長	209

白石区	12/11 区民センター ホール	地域福祉活動の担い手確保に向けて ・北星学園大学 岡田教授	地域組織が連携した取り組みについて ・北白石地区福まち 小池 副委員長 ・北野地区福まち 一瀬 運営委員長	191
厚別区	11/13 区役所 会議室	地区福まちにおけるコーディネート機能の強化について ・区社協 事務局次長	地区福まちにおける個別支援と単町支援のコーディネートについて ・個別支援 厚別中央地区福まち 木谷 センター長	21
豊平区	10/27 プレミアホテル椿札幌	地区福まちにおけるコーディネート機能の強化について ・区社協 事務局次長	地域の組織間と社会資源との連携 新たな人材の発掘確保に向けて ・八軒中央地区福まち 野島 事務局長	184
清田区	11/1 区役所 会議室	地区福まちにおけるコーディネート機能の強化について ・区社協 事務局次長	厚別区もみじ台地区における活動状況について ・もみじ台地区福まち 幸田 事務局長 (小G意見・情報交換：福まちにおけるコーディネートについて)	20
南区	12/6 アパホテル&リゾート	地区福まちにおけるコーディネート機能の強化について ・区社協 事務局次長	地域の組織間と社会資源との連携 新たな人材の発掘確保に向けて ・藤野地区福まち 飯盛 運営委員長	178
西区	11/27 ホテルヤマチ	地区福まちにおけるコーディネート機能の強化について ・区社協 職員	地区福まちにおける単町圏域活動の支援 ・八軒中央地区福まち 野島 事務局長 単町における支え合い活動の実践 ・山の手第17町内会福祉推進会 小林 委員長	280
手稲区	12/6 区民センター ホール	地区福まちにおけるコーディネート機能の強化について ・区社協 事務局次長	星置地区福まちにおける単町圏域活動の支援 ・星置地区福まち 中川運営委員長 手稲中央地区福まちにおける単町圏域活動の支援 ・手稲中央地区福まち 濱谷 運営委員長	77
10区合計				1,429

②地区福まちコーディネート機能強化にかかわる全体研修会の開催

《開催日時・場所》平成30年2月21日市社福センター

《参加対象》

区別研修会を受講された各種調整業務にかかわる実務者（地域住民や福祉の専門機関・団体・施設等からの情報提供や相談を受ける立場にある方、または今後受ける予定にある方（地区福まち事務局長・事務局員・部会員相談員等：1地区2名程度）

《参加人数》148名

《開催内容：講義→シンポジウム→情報意見交換》

講義：「これからの地域福祉活動について

～困りごとを抱えた住民への支援～

北星学園大学 社会福祉学部 福祉臨床学科

准教授 畑 亮輔 氏

シンポジウム：「福まちにおける個人を支えるコーディネート

～地域と専門機関の連携～

（発表者）厚別区厚別西地区福祉のまち推進センター

センター長 久郷 光徳 氏

札幌市北区第2地域包括支援センター

センター長 島崎 顕生 氏

（助言者）北星学園大学 社会福祉学部 福祉臨床学科

准教授 畑 亮輔 氏

情報・意見交換：「個人を支えるコーディネート(個別支援)について」

(6) 福まちパワーアップ事業の拡充支援

〔内 容〕見守り活動の推進に課題を抱える地区への支援強化を図る取組として、昨年度から市・区社協が行政からの委託を受け進めている。本事業は、ワークショップと単町訪問を相互に組み合わせて支援活動を展開する試みでCSW業務とも連動させながら、昨年度、先行3区（東区・清田区・西区）において実施した取組を、今年度から全区社協に拡大して展開する。

〔モデル地区指定数〕

- ・今年度から全区で実施：1年度に全市で13地区を指定のうえ実施
- ・指定地区数：大規模区（中央区・北区・東区）⇒2地区指定
中・小規模区（その他の7区）⇒1地区指定

〔モデル地区：ワークショップの開催及び単町訪問の実施〕

	28年度 モデル地区	29年度モデル地区		
		地区名	ワークショップ開催	単町訪問(訪問実績)
中央区		南円山地区 桑園地区	・1回目 7/25 ・2回目 2/23 ・1回目 7/11 ・2回目 2/20	・12単町中 6単町 ・18単町中 7単町
北区		鉄西地区 麻生地区	・1回目 7/29 ・2回目 3/ 5 ・1回目12/19 ・2回目 3/19	・13単町中 2単町 ・16単町中 5単町
東区	元町地区 苗穂東地区	栄東地区 北栄地区	・1回目 6/29 ・2回目11/30 ・1回目11/15 ・2回目 2/21	・39単町中 4単町 ・27単町中 2単町
白石区		菊の里地区	・1回目 7/24 ・2回目11/ 9	・ 9単町中 4単町
厚別区		厚別東地区	・1回目10/23 ・2回目11/27	・ 7単町中 7単町
豊平区		豊平地区	・1回目10/20 ・2回目 3/16	・ 20単町中 6単町
清田区	清田地区	清田中央地区	・1回目 6/22 ・2回目 2/22	・ 19単町中10単町
南区		南沢地区	・1回目 7/ 4 ・2回目 2/26	・ 14単町中 7単町
西区	発寒北地区	琴似二十四軒地区	・二十四軒 1回目 6/30 ・2回目 2/ 2 ・二十四軒棟 1回目10/11 ・2回目 2/ 9	・ 20単町中 1単町 ・ 13単町中 4単町
手稲区		稲穂金山地区	・1回目 6/13 ・2回目12/ 7	・ 23単町中20単町
合計	4地区	13地区	28回開催	・250単町中85単町

(7) 地区福祉のまち推進センター拠点活性化事業の支援

〔内 容〕地区福まちの活動拠点の活性化を目的に、相談窓口や目安箱の設置などを区社協が支援することで、地区福まちが「住民の困りごとを把握し、解決の道筋を考え・ノウハウとして蓄積していく仕組みづくり」を進める。

〔支援地区〕地区福まちの状況に応じて、区社協が拠点PRのためのチラシ作成や、専門機関と連携した相談活動の実施、相談対応にかかわるマニュアル作成といった支援活動を随時展開。

(8) 地域見守りネットワーク推進会議の開催

〔内 容〕 地域（地区福まち）と各種民間事業者等が連携した重層的な見守りの仕組みづくりに向けて、地域見守りネットワーク推進会議を開催し、体制整備の取り組みを進める。

- ・ 第1回 日時等：6月23日 14：00～16：00 市社福センター
参加者：27名（ネットワーク会議委員・区社協等）
内 容：ネットワーク構築に向けた実践（八軒中央地区におけるモデル的取組・経過報告）
：豊平区地域見守りネットワーク推進会議の開催報告
：事業者等による見守り事業実績報告（前年度実績）
：情報・意見交換（各委員からの活動報告や情報提供）
：その他（市・区社協からの情報提供）
- ・ 第2回 日時等：11月29日 14：00～16：00 市社福センター
参加者：29名（ネットワーク会議委員・区社協等）
内 容：民間事業者・福祉関係専門機関の取組紹介
（セブンイレブン・ジャパン、地域包括支援センター、障がい者相談支援事業所）
：情報・意見交換（各委員からの活動報告や情報提供）
：八軒中央地区におけるモデル的取組（経過報告）と区域における地域見守りネットワーク推進会議の開催
：南区地域見守りネットワーク推進会議の開催報告
：平成29年度見守り・訪問活動啓発ポスターの掲示実績
：その他（市・区社協からの情報提供）

〔会議構成員〕 福まち、民生委員・児童委員、警察、消防、行政（福まち担当部局等）、集合住宅関連団体、地域包括支援センター、障がい者相談支援事業所、各種配達事業者等（コープさっぽろ・エンパイアー・ヤクルト・道新販売所・明治安田生命保険・セブンイレブン・佐川急便）、学識経験者

(9) 福まち活動マニュアル（改訂版）の作成

〔内 容〕 平成16年度に作成した「地区福祉のまち推進センター活動の手引き」について、作成から10年以上が経過したことから、福まちにおけるコーディネート機能の強化など、必要とされる新たな取り組みを加えた上で、近年の活動に即した改訂版の手引書を作成する。

〔印刷物名〕 地区福祉のまち推進センター活動の手引〔改訂版〕

〔発行部数〕 12,000部

(10) 区福まち事業（補助制度）見直しにかかわる関係業務の実施

〔内 容〕 平成27年度にプロジェクト会議を設置して協議を進めた、区社協のCSW機能強化等に伴う「区福まち補助事業の見直し（区福まち事業・個別事業展開指針：改訂版の作成）について、行政計画の実施期間（30年度から）とあわせて導入が図られるよう、必要とされる各種調整を行政（保健福祉局）と進める。

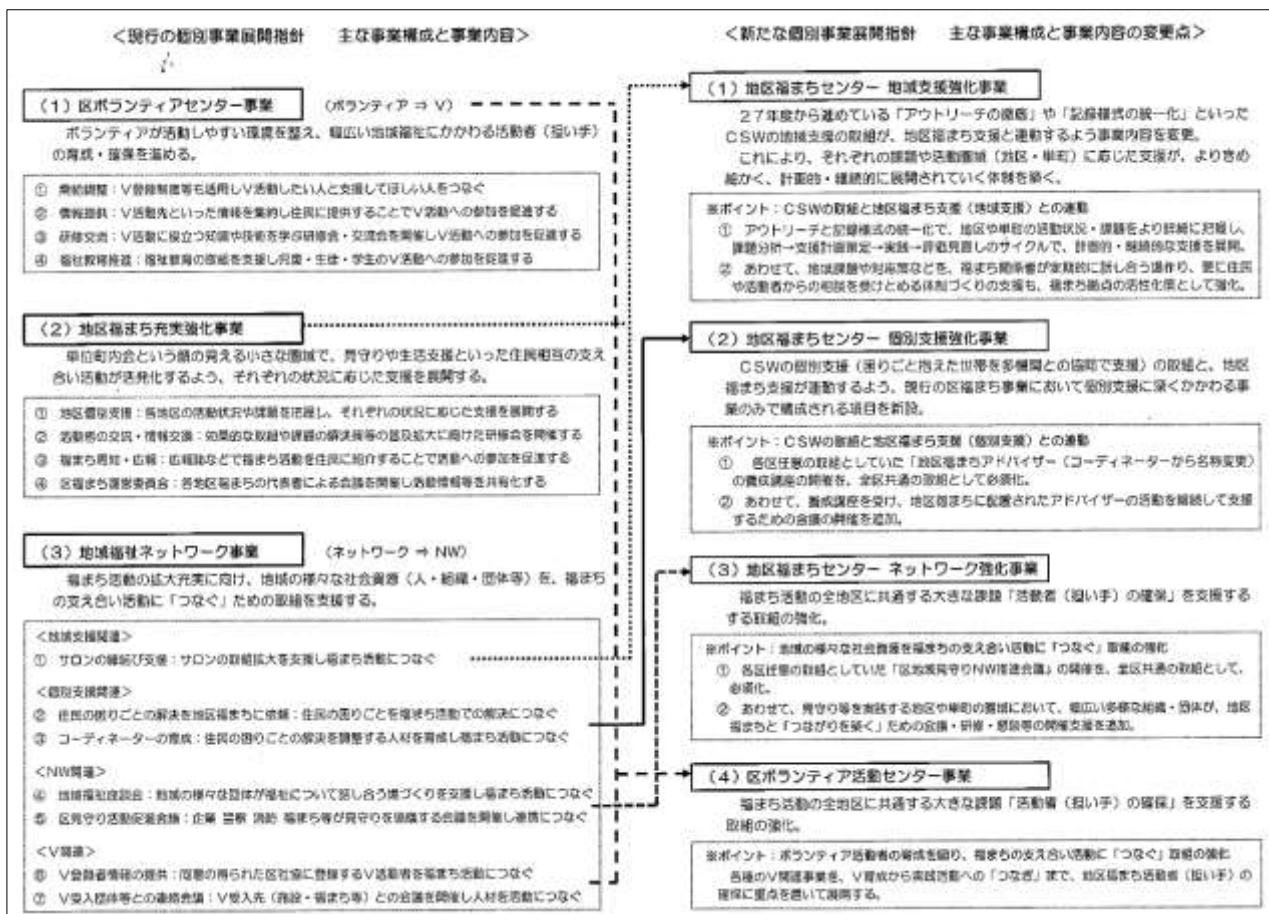
〔保健福祉局＜担当課＞との調整：導入にかかわる内容とスケジュール確認〕

- ・ 第1回保健福祉局との打合せ：9月28日 16：00～17：00・市役所
- ・ 第2回保健福祉局との打合せ：11月16日 15：30～17：00・市役所

〔区福まち事業・個別事業展開指針の主な改訂内容〕

- ① 地区福まちへの支援が現状の活動や課題に即したものとなるよう見直しを図る

- ② 本会CSWの取組と地区福まちへの支援が連動するよう見直しを図る
- ③ 地区福まちの活動者確保に向けた取組が強化されるよう見直しを図る



[市・区社協と行政＜保健福祉局等＞における導入までのスケジュール]

- ① 市社協: 12月開催係長会議・1月開催の事務局長会議にて区社協に改訂内容とスケジュール説明
- ② 行政: 1月開催の区役所(保健福祉課長会議・活動推進担当係長会議)にて改訂内容とスケジュール説明
- ③ 行政: 2月中に保健福祉局において、改訂に伴う補助金交付要綱の一部改正を行い、区役所(保健福祉部)と区社協に通知
- ④ 30年度(4月)から新たな指針と補助金交付要綱に基づき、区福まち事業を全区で展開

(11) 社協ホームページにおける地区福まち情報の充実

- 各区社協にてホームページ「福祉のまち推進センターニュース」を随時更新
- 福まち基本情報シート [全地区分HPで公開]

(12) 報道機関などを活用した積極的な周知活動の展開

テレビ・ラジオ・新聞等を有効活用し、福まち活動の紹介等を随時実施。

(13) コミュニティソーシャルワーク機能の強化

[内 容] 平成26年度にプロジェクト会議を設置し作成した「地区福まちの未来像と区・市社協の役割」に基づく取組として、昨年度に引き続き、コミュニティソーシャルワーク(CSW)機能の強化を以下のとおり進める。

①地区福まち情報の収集・記録・整備にかかわる支援

社協活動の見える化に向けて、区社協の地区福まち支援に係る各種記録等の作成・整備を進め、全市的に支援ノウハウの蓄積と共有化を図る。

- ・地域支援業務にかかわる記録票：29年度も全地区対象に継続
 - 地域支援援助記録票〔会議・打合せ・研修・行事用〕 → 通年作成
 - 地域支援援助記録票〔個別相談用〕 → 通年作成
 - 地区社協組織図・福まち構成図 → 随時更新
 - 福まち基本情報シート → [全区4～7月更新]
- モデル地区にかかわる記録票：29年度もモデル地区を継続・拡大
 - 27年度モデル地区：各区社協 → 1地区
 - 28年度モデル地区：各区社協 → 2地区以上
 - 29年度モデル地区：各区社協 → 2地区以上 合計〔5地区以上〕
 - (モデル地区において作成・更新する書類〔課題分析票、支援計画票、支援実施票、町内会・自治会基礎データ〕)

《モデル地区の指定状況》

	H27：1地区	H28：2地区	H29：2地区	合計
中央区	宮の森大倉山	桑園・南円山	山鼻・幌西	5地区
北区	新川	新琴似西・太平百合が原	鉄西・麻生	5地区
東区	栄西	元町・苗穂東	栄東・北栄	5地区
白石区	北東白石・白石東	菊の里	菊水・北白石	5地区
厚別区	厚別西	青葉・もみじ台	厚別東・厚別中央	5地区
豊平区	東月寒	豊平・月寒・福住	美園	5地区
清田区	平岡	北野・清田	清田中央・里塚美しが丘	5地区
南区	藤野	芸術の森・簾舞	南沢・藻岩下	5地区
西区	西町	発寒北・発寒	琴似二十四軒・山の手	5地区
手稲区	富丘西宮の沢	手稲鉄北・前田	稲穂金山・星置	5地区

- ・個別支援業務にかかわる記録票：28年度も全地区対象に継続
 - 個別支援対応票・個別支援援助記録票 → 通年作成
 - 個別支援検討会議報告書 → 通年作成
- ・以上の各種記録票等については、各区社協で作成更新のうえ整備し、随時区社協内での情報共有や地区支援の検討・合意形成に活用するとともに、必要な内容・情報は、地区福まちの活動者とも共有し、地区福まちに対する支援活動のレベルアップへとつなげる。

②コミュニティソーシャルワークスキルアップ事業の実施（会議・訪問・研修等）

〔内容〕平成26年度にプロジェクト会議を設置し作成した「地区福まちの未来像と区・市社協の役割」に基づく取組として、昨年度に引き続き、コミュニティソーシャルワーク（CSW）機能の強化を以下のとおり具体的に進める。

〔具体的な取組〕

- CSWにかかわる知識・技術の習得
 - ・新人職員等に対する「地区福まちの未来像と区社協及び市社協の役割」に関する説明の実施（4月19日：11名参加）

- ・道内外CSW研修への職員派遣
 (全国CSW実践者養成研修への職員派遣 : 7・2月に2名派遣)
 (地域福祉コーディネーター研修会への職員派遣 : 9月に1名派遣)
 (道社協CSW養成研修への職員派遣 : 11月に5名派遣)
- 各種支援情報の共有化(各種業務担当者会議の開催)
 - ・福まち業務担当者会議 : 年4回開催(市社協会議室)
 (第1回:6/8、第2回:8/9、第3回:10/26、第4回:1/15)
 - ・サロン業務担当者会議 : 年2回開催(市社協会議室)
 (第1回:7/3、第2回:2/6)
 - ・福祉除雪業務担当者会議:年2回開催(市社協会議室)
 (第1回:4/24、第2回:7/11)

(14) 地域包括支援センター及び介護予防センターとの連携強化

地域包括ケアシステムの構築を図る仕組みとして、地域ケア会議が法的に位置付けられ、平成27年度から地域包括支援センター・介護予防センターが中心となり開催を進めているが、地域ケア会議の取組は市・区社協の業務にかかわるものが多数あることから、同年(27年度)に社協としての地域ケア会議への関わり方を再整理し「職員向けのマニュアル」を作成した。

今年度も本マニュアルに基づき、地域包括支援センター及び介護予防センターとの連携強化を進める。

[3] ふれあい・いきいきサロン事業の拡充

(1) サロンの登録及び助成

〔内容〕高齢者や障がい者、子育て親子が集い交友関係を築くための場づくりとして、引き続きサロン活動の拡充を図り、孤立死や悪質商法の防止・早期発見、更には、ゴミ出しや買い物などの軽易な生活支援を拡げていく地域での基盤づくりを進める。

〔新規登録サロン〕55サロン(内訳:高齢44・子育て2・複合9)

〔活動中サロン〕704サロン

(内訳:高齢517・子育て121・障がい2・複合64)

《ふれあい・いきいきサロン登録・助成》

[単位:団体]

分類	種類	平成29年度	平成28年度
登録総数		704 (活動休止・中止286除く)	704 (活動休止・中止231除く)
種別登録数	高齢者	517	519
	子育て	121	125
	障がい者	2	2
	複合型	64	58
新規登録数		55	69

(2) サロン活動情報の収集と提供

サロンの本会広報紙(やさしい街)での紹介にあわせ、新規開設サロンやサロンに役立つ活動プログラム等の情報を収集し、本会ホームページや区別サロン一覧表等にて随時紹介。

(3) サロン支援としてのボランティアコーディネート【縁結び事業】

サロン運営支援ボランティア・芸能ボランティアの紹介とコーディネート

(4) サロン開催場所の開拓、世代間交流の促進【縁結び事業】

サロン事例集などで開催場所の工夫や世代間交流の活動事例等を紹介

〔4〕福祉除雪事業の充実

福祉除雪事業の充実《A1(2)》

福祉除雪事業の安定した制度運営を図るため、地域協力員の確保等に向けて、積極的なPR活動を展開してきた結果、平成26年度は300名、平成27年度は100名近い地域協力員の増員を達成しました。



しかし、今後も利用者拡大が見込まれることから、幅広い年齢層に及ぶ地域協力員の確保を柱として、事業の円滑な推進に向けた様々な方策に取り組めます。

《実施状況》

実施状況	平成29年度	平成28年度
申込数 (冬季支援事業分)	5,564世帯 (9世帯含む)	5,391世帯 (11世帯含む)
該当世帯数 (冬季支援事業分)	5,321世帯 (9世帯含む)	5,176世帯 (11世帯含む)
非該当世帯数	53世帯	53世帯
辞退世帯	162世帯	162世帯
該当要件調査中	—	—

地域協力員	年度	人数	対応世帯数	割合
地域組織 (近隣協力員)	29	2,040人	3,577世帯	66.3%
	28	2,081人	3,561世帯	67.2%
NPO	29	8団体	62世帯	1.1%
	28	9団体	54世帯	1.0%
福祉施設	29	9団体	50世帯	0.9%
	28	12団体	55世帯	1.0%
学校	29	4校	21世帯	0.4%
	28	4校	14世帯	0.3%
地域企業	29	75社	1,165世帯	21.6%
	28	89社	1,203世帯	22.7%
防災協加盟業者	29	91社	520世帯	9.6%
	28	79社	410世帯	7.7%

※途中で区分が異なる協力員に変更となった場合は（地域組織と企業等）、対応世帯数は重複計上される。

(1) 地域協力員確保に向けた取組の継続・強化

①地域組織への更なる働きかけ

区社協が中心となり、広報誌やホームページ・PRチラシの町内回覧等様々な広報媒体を活用しつつ、地域組織の関係会議（町内会・民児協・福まち等）などにも積極的に参加し、住民の身近な地域福祉活動への参加を促進する活動として、地域の関係組織が福祉除雪における地域協力員の確保・調整といった取組に、より積極的にかかわるよう働きかけを行う。

②企業・団体・学校等への協力依頼の拡大

〔市社協〕自衛隊 隊友会への協力依頼（継続）

〔各区社協〕区の特性或状況等を踏まえ、区社協ごとに様々な場面・機会を活用して福祉除雪地域協力員の募集を働きかける（区連町協連絡協議会 区災害防止協力会、区自立支援協議会、区土木センター、中学校等）。

③除雪ボランティア説明会の実施

〔内 容〕引き続き福祉除雪地域協力員を中心に除雪ボランティア活動への一層の市民理解と協力を求めるための説明会を開催。

〔日時場所〕 知っ得講座：平成29年8月 1日 市総合センター
ボラ研修分：平成29年8月29日 市総合センター
知っ得講座：平成29年9月19日 市総合センター

④情報媒体の活用による地域協力員の発掘

市・区社協が一体となり、ラジオ・新聞・広報さっぽろ・本会広報誌やホームページ・PRチラシの町内回覧など、様々な広報媒体を活用し、幅広い世代が身近な地域福祉活動に参加できる取り組みとして、地域協力員の募集を積極的に実施する。

(2) 企業、団体等による除雪ボランティア活動の推進

〔内 容〕自力除雪が困難な高齢者・障がい者世帯等を対象に、福祉除雪では活動外となる場所（窓・灯油タンク・ガスボンベ廻り等）を中心とした単発の除雪支援を、企業・団体（労働組合・ボランティア団体）の協力を得て、今年度も継続して実施する。

○実施日：2月4日・10日・17日

○協力企業・団体数：11企業・団体

○対応世帯数：45世帯

≪実施状況≫

実施団体	対応世帯数
(株)東芝北海道支社・北海道東芝グループ	14
札幌地区連合青年委員会	12
札幌防犯健全協力会	2
ほくでんユニオン本部青年委員会	3
アサヒビール(株)北海道工場	2
日立国際電気北海道支社	1
KDDI(株)	4
サントリー労働組合	4

イオン北海道労働組合	1
株式会社オープンループパートナーズ ※新規	1
株式会社モロオ ロジスティック本部 ※新規	1
合 計	45

(3) 事業内容を検証するためのアンケート調査の実施

〔内 容〕 今後の事業内容を検証する参考とするため、事業年度終了後に利用世帯・地域協力員（個人・団体）を対象に、送付先を無作為抽出のうえ実施する。

- ①利用世帯 500世帯（前年度同数）
- ②地域協力員／個人用（地域組織） 500人（前年度同数）
- ③地域協力員／団体用（企業等） 全て（前年度同様）

※29年度分については30年度に実施する。

〔5〕 ボランティア活動の推進

ボランティア活動の振興・普及の強化《A1(3)》

地域福祉の実現を目指す福祉のまち推進事業を支えるボランティア人材の発掘・育成及びボランティア活動の普及・促進を図ることを目的に、ボランティア活動センターにおいて各種研修を継続的に実施します。



また、ボランティア・地域福祉に関する各種研修を実施することにより、ボランティア・地域福祉活動を担う人材、とりわけシニア世代の社会参加と活動への「つなぎ」「定着」を目指すほか、研修受講者へのフォローアップを強化するなど、より一層札幌市におけるボランティア・地域福祉活動の振興に努めます。

さらに、大規模災害に対する市民の理解を深めるため、「災害時地域支え合い講座」等を通じて災害時の地域での支え合いの重要性について普及・啓発するほか、「災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」の改訂版を作成し、東日本大震災発災後の事例や経験を踏まえた市・区災害ボランティアセンターの設置・運営の在り方について関係機関と連携を図り、協議します。

(1) ボランティア活動センター運営事業

① ボランティア相談・登録・コーディネートの実施

〔ボランティア登録状況〕

〔単位：名〕

区 分	平成 29 年度	平成 28 年度
団体登録人数	37,266	37,244
団体数	617	610
個人登録人数	1,575	1,320
合 計	38,841	38,564

〔ボランティア相談・需給調整〕

〔単位：件〕

区 分	平成 29 年度	平成 28 年度
福祉情報提供	4,718	5,453
寄附相談（物品等）	297	522
V活動希望相談	130	140
V要請相談	117	110
紹介成立	51	79
他機関・他制度紹介	44	12
紹介未成立	22	19
合 計	5,262	6,225

②ボランティア活動室・印刷室・研修室、活動機材の貸出

〔単位：団体・名〕

	利用団体数	利用者数
研修室A	560	6,639
研修室B	303	3,020
活動室	417	2,191
印刷室	354	1,175
合計	1,634 (1,704)	13,025 (13,572)

《ボランティア活動機材の貸出件数》

区 分	保有数	平成 29 年度	平成 28 年度
車いす	16 台	69	78
疑似体験 セット	18 セット	37	35
アイマスク	124 枚	23	20
白杖	37 本	19	8
スクリーン	1 張	1	3
プロジェクター	1 台	6	7
CDラジオ カセット	1 台	55	52
点字器	48 台	26	7
合 計		236	210

③ボランティア活動情報の収集と提供、広報活動の実施

- ・ボランティア活動センターのボランティア募集掲示板の活用
- ・札ボラニュースの発行〔発行回数〕毎月 1,700 部
※希望者にはEメール添付送信。ホームページにも掲載。
- ・市社協ホームページでのボランティア募集・団体活動紹介
- ・市社協広報誌「やさしい街」及び区社協広報誌への掲載
- ・区社協ボランティア通信への掲載
- ・札幌市ボランティア連絡協議会・区ボランティア連絡会広報誌への掲載

- ・ 広報さっぽろへの掲載
- ・ 北海道新聞「善意ボランティア」の欄・各種新聞社・ミニコミ紙等への掲載
- ・ 研修月刊チラシの発行〔発行部数〕5,000部（5,000部）

④ボランティア活動保険等の加入取扱いと促進

ア) 加入状況

〔単位：名・件〕

区 分	平成 29 年度	平成 28 年度
ボランティア活動保険	35,950	36,372
ボランティア行事用保険	99,868	90,617
送迎サービス補償制度	10	13
福祉事業者総合補償保険	傷害保険 15 賠償保険 35	49

イ) ボランティア関連保険引き受け保険会社との意見交換会

⑤ボランティア体験事業の実施

	中央区	北区	東区	白石区	厚別区	
体験施設 ・団体数	50	94	50	47	59	
体 験 メニュー数	50	61	60	45	68	
	119	194	160	112	191	
	120	148	139	106	175	
	豊平区	清田区	南区	西区	手稲区	合 計
体験施設 ・団体数	60	50	50	45	63	568
体 験 メニュー数	60	50	46	36	63	539
	163	117	137	169	179	1,541
	180	117	124	72	134	1,315

※上段は、今年度、下段は前年度実績

⑥福祉啓発研修、ボランティア研修、地域活動者研修、登録活動者研修、介護力向上研修、福祉事業従事者研修、各種出張研修の実施と受講促進

研修形式	平成 29 年度		平成 28 年度	
	研修数	受講者数	研修数	受講者数
集合型	184 研修	4,729 名	170 研修	4,055 名
出張型	10 テーマ 197 研修	9,728 名	12 テーマ 210 研修	9,302 名
計	375 研修	14,457 名	380 研修	13,357 名

〔内 訳〕

○福祉啓発研修

1日福祉セミナー、認知症サポーター養成講座、成年後見セミナー、生涯現役セミナー、障がい者講師等派遣事業PR講演会、介護保険制度を学ぶ講座

○ボランティア研修

傾聴ボランティア研修、ガイドヘルプ研修、はじめてのボランティア講座、「ふくし」体験講座、朗読ボランティア研修、絵本の読み聞かせボランティア研修、札幌ときめき大学研修（卒業時研修、同窓生合同研修）、障がいを理解するための研修、シニア世代のためのボランティア研修、芸能ボランティア交流研修、手話研修、託児

ボランティア研修、災害ボランティア研修、はじめての除雪ボランティア研修、NPO 基礎研修

○地域福祉研修

ふれあい・いきいきサロン研修、地域見守りサポーター養成研修、社会的孤立を考える研修、災害時のための地域支え合い講座、地域の事例から学ぶ研修、地域福祉活動に役立つコミュニケーション研修、「個人情報保護法」を理解するための研修、地区福まち活動者研修、民生委員・児童委員テーマ別研修

○各種登録活動者研修

地域支え合い有償ボランティア事業協力会員研修（登録説明会・活動前研修、スキルアップ研修）、介護サポーター研修、さっぽろ子育てサポートセンター研修（会員登録説明会・新規提供会員講習会）、障がい者講師フォローアップ講座、日常生活自立支援事業生活支援員登録研修・説明会

○介護力向上研修

介護力アップ教室、かんたん！らくらく介護教室、親子 de 介護体験教室、介護職員初任者研修、同行援護従業者養成研修

○福祉事業従事者研修

事業所と地域とのネットワークづくり研修、福祉施設等におけるボランティア受入担当者研修、福祉施設職員ニューパワー全体セミナー、救急法セミナー、施設レクリエーションを見直す研修、福祉施設等における社会貢献を考える研修、福祉・医療・保健関係者のための成年後見セミナー

○出張型

地域見守りサポーター養成講座、災害時のための地域支え合い研修、個人情報保護法を理解しよう、なんにでも役に立つ！傾聴・コミュニケーション力、みんなで楽しく若返り！音楽脳トレ、始めてみよう！ボランティア活動、日常生活自立支援事業、障がい当事者のお話を聴こう！

○在宅ボランティア養成研修会

○かんたん！らくらく介護（出前）教室

一般市民を対象に在宅介護に関する知識や技術の習得を目的とした研修会を開催し、在宅介護を行っている家族、介護に関心のある子どもから高齢者を対象に在宅介護の普及啓発のための介護教室を実施した。

〔単位：回・名〕

区	平成 29 年度		平成 28 年度	
	回数	参加人数	回数	参加人数
中央区	5	56	12	299
北 区	0	0	9	370
東 区	0	0	6	156
白石区	5	143	3	65
厚別区	2	80	0	0
豊平区	0	0	3	62

清田区	1	20	1	18
南区	1	49	5	145
西区	0	0	5	300
手稲区	1	17	2	32
計	15	365	46	1,447

○札幌ときめき大学

〔日 時〕平成29年4月12日～11月15日（取得50単位）

〔応募者〕22名 〔合格者〕22名 〔修了者〕19名

札幌ときめき大学の開校と札幌ときめき大学合同研修会の開催 《A3(4)》

ボランティア活動センターが開催する研修を一定数以上受講するとともに、ボランティア体験を通じ、卒業後にボランティア活動を継続して行うボランティアリーダーを養成することを目的に開講します。



○札幌ときめき大学合同研修会

〔日 時〕平成29年12月8日

〔内 容〕障がい福祉に関わって

講師 社会福祉法人朔風

常務理事・事務局長 森本 千尋氏

〔参加者〕17名

⑦シニアの社会参加に関連するボランティア研修の実施

ア 生涯現役セミナー

〔日 時〕平成29年11月20日

〔内 容〕志あるシニアが道を開く（講演・対談）

講師 日本野球機構審判技術委員 山崎夏生 氏

北海道医療大学准教授 長谷川 聡 氏

〔参加者〕73名

イ シニア世代のためのボランティア研修 ～入門編～

〔日 時〕平成29年12月4日

〔参加者〕20名

ウ シニア世代のためのボランティア研修 ～地域活動編～

〔日 時〕平成29年1月24、26日、2月1日（3日講座）

〔参加者〕15名

⑧研修受講後のボランティア活動機会の積極的な提供

⑨災害ボランティアセンター設置・運営研修会等の実施

ア 円滑な設置・運営に向けた取り組み

a 北海道防災総合訓練への参加

〔日 時〕平成29年9月1日

〔場 所〕札幌市立北郷小学校

〔内 容〕防災対策に関する研修、教員による避難所開設訓練見学、非常食試食、行政職員などによる避難所運営訓練

b 災害ボランティアセンター運営者研修への参加

〔日 時〕平成 29 年 11 月 6 日

〔場 所〕札幌市北海道第 2 水産ビル

〔内 容〕北海道災害ボランティアセンターの取組みについての説明・
道（総合振興局）における防災の取組状況についての説明・
平成 28 年度大雨等災害時の災害ボランティアセンターでの
活動についての報告・情報交換

c 災害ボランティアセンター運営者研修への参加

〔日 程〕平成 29 年 12 月 11 日～12 日

〔場 所〕岡山プラザホテル・きらめきプラザ（岡山県岡山市）

〔内 容〕災害ボランティアセンター運営者として必要な知識・技術の
学習ワークショップ・情報交換

d 札幌市災害ボランティアセンター設置・運営者研修

〔日 時〕第 1 回：平成 30 年 2 月 22 日

第 2 回：平成 30 年 2 月 23 日

〔場 所〕札幌市社会福祉総合センター4 階 ボランティア研修室 A

〔内 容〕札幌市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルについて

説明：札幌市社会福祉協議会ボランティア振興課職員

小幡 日哉

災害ボランティアセンター運営者研修に参加して

報告：参加職員

避難所と避難生活を支える災害ボランティアコーディネート
に必要な視点を養う

講師：日本赤十字北海道看護大学看護薬理学領域 教授

災害対策教育センター センター長

根本 昌宏 氏（薬学博士）

〔参加者〕第 1 回：20 名

第 2 回：26 名

イ 災害支援ボランティアの養成と研修の実施

a 災害ボランティア研修

〔日 時〕平成 29 年 4 月 21 日

〔場 所〕札幌市社会福祉総合センター4 階研修室 A

〔内 容〕演題 「過去の災害から学ぶ

災害ボランティアに必要な知識」

講師 災害ボランティアコーディネーター 吉崎 文浩 氏

b 災害ボランティアフォローアップ研修の開催

〔日 時〕平成 29 年 7 月 7 日

〔場 所〕札幌市社会福祉総合センター 4 階 視聴覚兼会議室

〔内 容〕災害から考える

～清水町災害ボランティアセンターの活動について～

講師 社会福祉法人 清水町社会福祉協議会

主事 脇原 康誠 氏

〔参加者〕34 名（52 名）

c 「災害時地域支え合い出張研修会」の実施

[単位：回・名]

	平成 29 年度	平成 28 年度
回 数	12	12
受講者	421	369

⑩災害ボランティアセンター関係機関連絡調整会議の開催

〔目 的〕 災害関係機関・団体からの意見聴取や情報交換等を行い、札幌市災害ボランティアセンター設置・運営体制の円滑化・充実化を図るため。

〔日 時〕 平成 30 年 3 月 6 日

〔場 所〕 札幌市社会福祉総合センター3階 第2会議室

〔内 容〕 天理教北海道教区における災害支援活動の状況と今後の活動展開について

発表者：天理教災害救援ひのきしん隊北海道教区隊

隊長 奥村 尚人 氏

札幌市災害ボランティアセンターの体制充実強化に向けての意見・情報交換

〔出席数〕 9 機関 10 名

⑪社会福祉協力校の指定促進と支援

《社会福祉協力校の指定促進と支援》

平成 29 年度新規指定 1 校（真駒内中）

平成 28 年度新規指定 2 校（屯田中央中、北海札幌高校）

平成 27 年度新規指定 1 校（真駒内公園小）

《再指定校》

平成 29 年度指定 4 校（平岸高台小、手稲中央小、新陵東小、上野幌中）

平成 28 年度指定 3 校（光陽小、月寒小、発寒東小）

⑫福祉教育副読本の改訂及びボランティア活動手引書の配布

ア 福祉教育副読本（改訂）

〔委員数〕 9 名（委員長：佐久間 彰氏・北海道国際大学スポーツ人間学部スポーツビジネス学科）

〔委員会〕 第1回 8月16日 9:30～

第2回 10月5日 18:00～

第3回 11月1日 10:00～

第4回 12月12日 18:00～

イ 「ふくし読本」地域でともに生きる～みんなのやさしさ～

（小学校高学年向け）

〔内 容〕 「ふくし」ってなんだろう/地域を知る/ともに生きる/福祉のまちづくり/わたしたちにできること/じぶんにできることはなんだろう

〔発行数〕 17,500 部

〔配付先〕 市内小学校5年生全生徒

ウ 地域・学校・社協ですすめる「福祉教育（ふくし学習）ハンドブック」

(教員向け)

〔内 容〕 学校と共有したい基本的視点/「ふくし読本」を使った授業展開/福祉教育のポイント

〔発行数〕 2,100部

〔配付先〕 市内小学校5,6年生全学級他

⑬障がい者講師等養成・派遣事業の実施

障がい者講師等養成・派遣事業《A3(5)》

障がいのある方が学校や企業、町内会等で講師を務めることで、障がいに対する市民理解が深まるとともに障がい者の社会参加がより促進され、ノーマライゼーションの理念が実現した社会を目指して、障がいのある方を講師として養成・派遣します。



今年度も、町内会や福まち、民生委員児童委員協議会等の地域団体に対し、重点的に普及啓発を実施します。

ア 障がい者講師養成講座の開催

〔日 時〕 平成29年7月11日～8月24日(全8回)

〔場 所〕 ボランティア活動センター

〔内 容〕 各種障がい者の理解について
学校が障がい者講師に求めていること
模擬講演に向けたテーマ設定について 他

〔受講者〕 各種障がい者手帳を有する方
14名申込・10名修了書交付

イ PRイベントの開催

〔日 時〕 平成29年11月30日

〔場 所〕 札幌市社会福祉総合センター4階 大研修室

〔内 容〕 障がい者講師養成講座修了生による公開座談会
座 長 障がい者講師養成講座修了生 牧野 准子 氏
出演者 平成29年度障がい者講師養成講座修了生4人
特別講演

演題 「心のバリアフリーとヘルプマークについて」

講師 札幌市保健福祉局障がい福祉課
企画調整担当係長 名塚大輔 氏

〔参加者〕 65名 (聴講者：57名 運営スタッフ等：8名)

ウ 障がい者講師の派遣

〔登録数〕 104名

〔派遣先〕 市内小・中・高等学校・企業・福まちなど

〔単位：回・名〕

	平成29年度	平成28年度
回数	116	106
聴講者	7,176	6,323

⑭障がい当事者スピーチマラソンの開催

〔日 時〕 平成29年6月24日

〔場 所〕 札幌市社会福祉総合センター4階大研修室

〔内 容〕 当事者だからこそ感じている思いを伝えます。

〔形式・講師〕 スピーカー15名によるリレーマラソン形式

〔参加者〕 271名

(聴講者：173名、運営スタッフ等：98名)

⑮障がい者のスポーツ・遊び体験事業の実施

○さっぽろばんけいスキー場の協力のもと、外出する機会の少ない知的障がい者に、付き添いボランティアとともに夏はパークゴルフ、冬はソリすべり、スキー等を楽しんでいただきながら、自然に触れる喜びや楽しさを体感していただく事業です。昼食時には、芸能ボランティアによる披露もあり、楽しみながら参加していただいています。

〔主催〕 (株)太陽グループ、札幌市知的障がい福祉協会、市社協

〔協力〕 付添ボランティア、芸能披露ボランティア

〔会場〕 ばんけいスキー場

〔実施状況〕

	夏季	冬季
実施期間	7～8月	12～3月
実施内容	パークゴルフ	スキー、ソリ、チューブすべり
実施日数	3日間	27日間
利用者数	3事業所・36名	32事業所・356名
付添ボランティア	延2名	延25名

〔内訳〕

回	日程	利用者	付添V	屋外体験内容	その他
1	7/12	16名	2名	パークゴルフ	
2	7/19	8名	0名	パークゴルフ	
3	8/8	12名	0名	パークゴルフ	
4	12/21	3名	0名	ソリすべり	
5	12/26	22名	0名	スキー	
6	12/27	23名	0名	ソリ・スキー	
7	12/27	9名	3名	ソリすべり	
8	12/28	19名	0名	スキー	
9	1/5	13名	1名	ソリすべり	
10	1/11	8名	2名	チューブすべり	
11	1/12	4名	0名	ソリすべり	
12	1/15	2名	2名	ソリ・チューブ・スキー	
13	1/15	3名	2名	ソリ・チューブ・スキー	
14	1/16	9名	3名	チューブすべり	
15	1/16	4名	3名	チューブすべり	
16	1/16	16名	3名	チューブすべり	
17	1/18	8名	4名	チューブすべり	
18	1/18	5名	4名	チューブ・スキー	
19	1/19	10名	0名	ソリすべり	
20	1/24	2名	0名	チューブすべり	

21	1/25	27名	1名	チューブ・スキー	
22	1/26	26名	1名	チューブ・スキー	
23	1/29	3名	0名	チューブ・スキー	
24	1/30	1名	0名	チューブすべり	
25	2/6	8名	2名	チューブ・スキー	
26	2/9	27名	1名	チューブすべり	
27	2/20	6名	0名	チューブすべり	
28	2/27	6名	0名	チューブすべり	
29	2/28	18名	3名	チューブすべり	
30	3/6	6名	0名	チューブすべり	
31	3/8	19名	2名	チューブ・スキー	
32	3/13	6名	0名	チューブすべり	
33	3/20	5名	0名	チューブすべり	
34	3/26	25名	0名	スキー	

(会場はいずれもばんけいスキー場)

⑩介護サポートポイント事業の実施

介護サポートポイント事業《A3(7)》

65歳以上の高齢者の社会参加を促し、介護予防への取り組みを広げるため、市内の高齢者福祉施設等でボランティア活動すると、換算できるポイントがたまる「札幌市介護サポートポイント事業」を実施します。



介護サポーターとして活動を希望する市民及び受入を希望する高齢者福祉施設等を随時募集し、活動登録者研修と受入施設説明会を実施します。

ア 受入施設数・サポーター登録者数 [単位：事業所・名]

	年度	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
受入 施設数	29	12	26	22	20	14	15	19	7	14	18	167
	28	12	25	22	19	13	15	19	7	11	14	157
サポーター 登録数	29	192	209	187	116	128	143	100	188	133	139	1,535
	28	179	190	179	105	93	124	91	173	123	112	1,369

※ 受入施設にはデイサービス、デイケア含む

※ 介護サポーター登録者数には辞退者含む

イ 介護サポーター研修の開催 (集合・出張形式) 【第2四半期末現在】

[回数] 15回 (集合型12回、出張型3回)

[参加数] 236名

ウ 介護サポーターフォローアップ講座の開催

a) 第1回 (通算7回目)

[日時] 平成29年6月28日

[場所] 札幌市社会福祉総合センター4階 大研修室

[参加者] 108名

[内容] 演題「心をつなぐ話の聴き方

～ボランティア活動に役立つ傾聴のコツ～

講師 特定非営利活動法人
北海道総合福祉研究センター
事務局長 池田ひろみ 氏

エ 介護サポーターフォローアップ講座の開催（体験型）

〔日 時〕 平成29年9月26日

〔場 所〕 社会福祉法人 栄和会

特別養護老人ホーム ひらおか梅花実

〔内 容〕 活動に至らない介護サポーターを対象に、体験を通じて活動に結びつける体験型のフォローアップ

〔参加者〕 13名

オ アンケート調査の実施

〔目 的〕 介護サポーターの意識や実態の把握

〔対 象〕 登録者 1501名

〔方 法〕 郵送による調査票の配付・回収

〔日 時〕 平成29年11月20日～12月8日

〔配布・回収数〕

発送数1,501件、回収数618件、回収41.1%

カ 新規受入施設に対する説明会

〔日 時〕 平成29年7月10日（夜間）はじめ計8回実施

〔場 所〕 札幌市社会福祉総合センター4階 研修室、受入施設

〔参加数〕 17施設・事業所

〔内 容〕
・介護サポートポイント事業の主旨説明、受入施設の手続き・役割
・介護サポーターの受入・ポイントの付与、活動実施記録簿の提出等

キ 受入施設事業担当者説明会

〔日 時〕 平成29年11月2日、6日（2回）

〔内 容〕
・札幌市介護サポートポイント事業の目的について
・札幌市介護サポートポイント事業に係る業務説明について
・意見交換・質疑応答

〔参加数〕 第1回 24施設28名 第2回 20施設21名

ク ポイント換算交付金申請の受理

・例年は、1月のみの申請受付であるが、今年度は試行的に、50ポイント以上付与された介護サポーターに限り、1か月前倒しして、12月より申請を受理した。

・ポイント換算交付金申請者数558（登録者1501：申請率37%）

⑰ボランティア活動センター運営委員会の開催

a) 第1回

〔日 時〕 平成29年5月16日

〔場 所〕 ボランティア活動センター研修室A

〔議 題〕 平成27年度ボランティア活動センター事業報告
福祉教育副読本及び教員向けアイデア集の改訂に伴う今後の進め方について（方針案）

札幌市社会福祉総合センター保全工事に伴う一部休館について

b) 第2回

- 〔日 時〕 平成29年12月21日
〔場 所〕 ボランティア活動センター研修室A
〔議 題〕 平成30年度研修体系(案)について
福祉教育副読本等の作成について
平成29年度重点事業の進捗について

c) 第3回

- 〔日 時〕 平成30年3月12日
〔場 所〕 ボランティア活動センター研修室A
〔議 題〕 平成30年度事業計画(案)について
平成30年度研修カリキュラムについて
ふくし読本及び福祉教育ハンドブックについて

⑱札幌市ボランティア連絡協議会に対する支援

ア 主催事業

a) ボランティア講演会

- 〔日 時〕 平成29年4月26日(水) 14:00-16:00
〔会 場〕 札幌市社会福祉総合センター4階「大研修室」
〔題 目〕 『知っていますか? ”こくほ” と ”こうき(後期高齢者医療制度)”』
〔講 師〕 札幌市保健福祉局保険企画課 職員

b) ボランティアリーダー研修会

- 〔日 時〕 平成29年7月24日(月) 10:00~12:00
〔会 場〕 札幌市社会福祉総合センター4階 研修室B
〔題 目〕 まちづくり活動参加のきっかけを応援
～さぽーとほっと基金、NPOなどへの支援～
〔講 師〕 札幌市札幌市市民文化局市民自治推進室
市民活動促進担当課長 佐藤 邦枝様

c) ボランティアセミナー

- 〔日 時〕 平成30年3月13日
〔会 場〕 札幌市社会福祉総合センター1階「技能習得室」
〔題 目〕 シニア時代の生活～終活ってなに?～
〔講 師〕 終活ジャパン協会代表理事 池田智裕 氏

d) 生徒・学生ボランティアとの交流・情報交換

各区ボランティア連絡会において、次世代のボランティア活動を担う中学・高校・専門学校・大学の学生ボランティアと交流・情報交換を行い、ボランティア活動の魅力を確認めあった。

イ 参加・協力事業

a) ボランティア愛ランド北海道2017 in さっぽろ (参加・運営支援)

- 〔日 程〕 平成29年8月5日(土)
〔会 場〕 札幌コンベンションセンター (札幌市)
〔テーマ〕 「災害に対する意識の持ち方～津波てんでんこに学ぶ」
〔内 容〕 災害ボランティアセンターに関わるボランティアのパネルディスカッション等

- b) ボランティア全国フォーラム2017
 - 〔日 程〕 平成29年11月18日(土)～19日(日)
 - 〔会 場〕 広島県・岡山県をまたぐ備後圏域
 - 〔テーマ〕 熱くかたりあおう！そしてステップアップ！in 備後
 - 〔内 容〕 ボランティア活動・市民活動の展望について
- c) 平成29年度 石狩地区ボラネット・スキルアップ研修会
 - 〔日 時〕 平成29年11月30日(木)
 - 〔会 場〕 当別町・西当別コミュニティセンター
 - 〔内 容〕 情報交換・交流
- d) 道社協主催・ボランティアリーダー学習会
 - 〔日 時〕 平成30年2月17日
 - 〔会 場〕 北海道立道民活動センター「かでる2.7」(札幌市)
 - 〔内 容〕 「ボランティアの今後の方向性について考える」
- ウ 収集ボランティア活動
 - ペットボトルキャップ・リングプル・使用済切手および未使用鉛筆を集め、収集ボランティア活動の普及・啓発を行う。
- エ 広報誌「ふれあいネットワークさっぽろ」の発行
 - 通算第46号 平成29年12月発行(6,000部)
 - 通算第47号 平成30年3月発行(6,000部)
- オ 会務の運営
 - a) 総 会
 - 〔日 時〕 平成29年4月26日(水) 16:15-17:00
 - 〔会 場〕 札幌市社会福祉総合センター4階「研修室B」
 - 〔議 事〕 ㊦ 平成28年度 事業・決算・監査報告
 - ㊧ 平成29年度 事業計画案・予算案審議
 - ㊨ 役員改選(任期満了による)
 - b) 役員会
 - 随時開催
 - c) 三役会
 - 随時開催
 - d) 広報誌編集会議
 - 第46号について2回開催

⑩札幌市在宅福祉活動団体連絡会に対する支援

- ア 研修・交流事業
 - a) 第1回研修会
 - 〔日 時〕 平成29年5月16日
 - 〔場 所〕 札幌市社会福祉総合センター4階「視聴覚兼会議室」
 - 〔内 容〕 「地域を横断的につなぐ在福ネットの役割」
 - 講師 北星学園大学 社会福祉学部 福祉計画学科長
教授 岡田 直人 氏
 - 〔参加者〕 29名

b) 第1回交流会

〔日 時〕 平成29年5月16日
〔場 所〕 豚井とそば居酒屋「潮太郎」
〔参加者〕 20名

c) 第1回情報交換会

〔日 時〕 平成29年8月8日
〔場 所〕 札幌市社会福祉総合センター4階「研修室B」
〔参加者〕 24名（19名）
〔内 容〕 テーマ「最期まで暮らしたい場所はどこですか？ “私が、”
話題提供 全国訪問ボランティア・ナースの会「キャンパス札幌」(会員)
代表 真鍋 智美

d) 第2回研修会

〔日 時〕 平成29年11月13日
〔場 所〕 札幌市社会福祉総合センター1階「技能習得室」
〔内 容〕 「私たちが在福ネットの実践をとおして考える
地域の支え合い・助け合い活動」
講師 公益財団法人さわやか福祉財団
さわやかインストラクター 山本 純子 氏

〔参加者〕 29名

イ 啓発事業

a) 広報誌「手を繋ごう!なかまたち」の発行

〔発行日〕 7月12日（第20号） 850部

b) 加入団体紹介冊子の発行

〔発行日〕 9月 8日 160部

c) 「エルプラまつり2017」への参加・出展

〔日 時〕 9月 9日

〔内 容〕 団体会員のパンフレット配架・ポスター掲示、
イベントコーナー開設（7会員）

ウ 会務の運営

a) 総 会

〔日 時〕 平成29年5月16日
〔場 所〕 札幌市社会福祉総合センター4階「視聴覚兼会議室」
〔内 容〕 平成28年度事業、決算、監査報告
平成29年度事業計画(案)及び予算(案)審議
会則一部変更、役員一斉改選

〔参加者〕 24名

b) 役員会

4回：5月、7月、8月、9月

c) 会員の増強（通年）

(2) 地域支え合い有償ボランティア事業

市民参加型在宅福祉サービス活動の推進《A1(4)／B1(1)》

市民参加による相互扶助精神に基づき、高齢者の介護予防、障がい者福祉及び産前・産後支援など、在宅生活に支障がある方を対象に有償ボランティアを派遣する「地域支え合い有償ボランティア事業」を会員と協働で実施します。



また、子育ての支援を受けたい方（依頼会員）と援助したい方（提供会員）により会員組織を作り、日常的な子どもの預かりなど地域の会員相互で子育て家庭を支援する「さっぽろ子育てサポートセンター事業」を会員と協働で実施します。

①有償ボランティア（協力会員）による在宅福祉サービス（家事援助、生活援助、外出援助）の実施

《会員登録者数》 [単位：名]

	平成 29 年度	平成 28 年度
協力員数	556	544
利用者数	1,298	1,272
合 計	1,854	1,816

《サービス実績数》 [単位：世帯・回]

区		平成 29 年度	平成 28 年度
全サービス	世帯	6,607	6,530
	回数	22,489	22,471
	時間	34,544	35,946
家事援助サービス	世帯	4,619	4,580
	回数	16,333	16,518
	時間	27,494	28,211
生活援助サービス	世帯	1,577	1,562
	回数	5,314	5,030
	時間	4,842	5,288
外出援助サービス	世帯	411	388
	回数	842	923
	時間	2,208	2,447

②協力会員・利用会員の募集・広報啓発活動

【協力会員の募集】

定期的に登録説明会(登録時研修も併せて実施)を開催して協力員を募集し、地域支え合い有償ボランティア事業に係わる人材の確保を行った。

[単位：回・名]

区	平成 29 年度	平成 28 年度
開催回数	13	12
参加者数	153	150
新規登録者	136	119

【広報・啓発】

○協力会員の募集

定期的な登録説明会（協力会員対象）を開催して協力会員を募集し、有償ボランティアの人材確保を行った。

今年度は新たに、協力会員の少ない白石区・豊平区・手稲区に対して出張形式での登録説明会を実施する。

○利用会員の募集

事業に関するチラシ等を区役所、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等の関係機関に配付した。

③会報誌「ほっ・と通信」の発行

〔発行回数〕年4回：各2,000部発行

利用会員、協力会員に配付し、事業に関する広報・啓発を図った。

④協力会員交流会の開催

○会員交流会の開催

交流会を開催し、情報交換や悩み事相談の場を設定し協力会員相互の交流を深める場を設定した。

〔開催回数〕年1回

⑤協力会員に関する研修（登録時、スキルアップ）の開催

ア 協力会員研修（協力員スキルアップ研修）

多様化する市民ニーズに応えるため、サービス内容ごとに必要な知識及び技術の向上を目的とした研修を実施した。

〔単位：回・名〕

	平成29年度	平成28年度
開催回数	5	4
参加者数	107	109

イ 調整員会議

職員と調整員とのサービス需給調整にかかわる情報共有や課題の検討等を目的に開催した。

〔開催回数〕地区（年4回）

（3）さっぽろ子育てサポートセンター事業

①子育て家庭へのサービス（保育園・幼稚園等の送迎、保育園・幼稚園等終了後の託児、子どもの軽い病気の時の託児等）の実施

ア サービスの提供

〔単位：名〕

	平成29年度	平成28年度
提供会員	582	560
依頼会員	4,184	4,004
両方会員	169	176
合計	4,935	4,740

《サービス実績数》

	平成 29 年度	平成 28 年度
世 帯	1,860	2,223
回 数	10,870	14,448
時 間	14,555.0	18,003.5

②サポートセンター会員の募集・広報啓発活動

○ 会員の募集

説明会を開催して会員を募集し、さっぽろ子育てサポートセンター事業に係わる会員の確保を行った。

説明会 区分	開催 回数	参加 人数	新規登録者数
定期 (全市)	4	93	提供会員 56 (60) 依頼会員 545 (631) 両方会員 13 (16) 合 計 614 (889)
	4	118	
定期 (各区)	120	501	
	120	618	
個別	随時	313	
		332	

③会報誌「さぼめーる」の発行

〔発行回数〕 年 1 回：5,200 部発行

④サポートセンター会員交流会の開催

交流会を開催し情報交換や会員(依頼会員・提供会員)相互の交流を深める場を設定した。〔単位：回・名〕

		平成 29 年度	平成 28 年度
開催 回数	全体交流会	1	1
	区別交流会	10	10
参加人数		95	118
託児数		34	51

⑤サポートセンター会員に関する研修（新規提供会員登録時、レベルアップ）の開催

○各種研修

さっぽろ子育てサポートセンター新規提供会員講習会。
新規に登録した提供会員を対象に、活動に必要な知識及び技術の習得を目的とした講習会を実施した。

〔単位：回・名〕

	平成 29 年度	平成 28 年度
開催回数	4	4
参加者数	117	129
託 児	6	3

○さっぽろ子育てサポートセンターレベルアップ講習会

提供会員の知識及び技術の向上を目的とした講習会を実施した。

開催内容	回数	参加者数	託児
赤十字幼児安全法 身体の発達と病気等（札幌市子ども緊急サポートネットワークと連携）	2	39	未実施
赤十字幼児安全法 身体の発達と病気等（札幌市子ども緊急サポートネットワークと連携）	2	59	未実施

○連絡調整会議

アドバイザーとサブ・リーダーとの定期的な情報交換のため連絡調整会議を開催した。

〔開催回数〕 サブ・リーダー会議 年12回（内3回 サブ・リーダー、エリア・リーダー合同会議）

（4）在宅支援に関する研修事業

在宅支援に関する研修事業の推進（B4）

在宅支援従事者の養成を行うため、介護職員初任者研修および同行援護従業者養成研修課程、全身性障害者移動介護従業者養成研修課程を実施します。



①介護職員初任者研修の実施

介護員・居宅介護従事者の養成を行うため介護職員初任者研修を実施した。

〔単位：回・名〕

	平成29年度	平成28年度
開催回数	2	2
養成者数	19	14

②同行援護従業者養成研修課程の実施

視覚障がい者外出支援従事者の養成を行うため、同行援護従業者養成研修を実施した。

〔単位：回・名〕

	平成29年度	平成28年度
開催回数	3	5
養成者数	68	84

③全身性障害者移動介護従業者養成研修課程の実施

全身性の障害を有する者（児）に対する外出時における移動の介護に関する知識および技術を習得するため、全身性障害者移動介護従業者養成研修課程の研修を実施した。

	平成29年度	平成28年度
開催回数	2	0
養成者数	83	0

④専門職としての知識及び技術の向上を図るための職員研修の実施

福祉サービスの質の向上《A2(6)》

認知症高齢者、知的障がいや精神障がいのある方への生活支援については、きめ細やかな対応が必要となります。利用者や家族の多様な福祉課題に応えるため、福祉サービスの担い手である専門職員の資質向上を図ります。



- 市民を対象とした介護技術等の普及に関する研修（かんたん！らくらく介護教室）

在宅介護を行っている家族や介護に関心のある「子どもから高齢者まで」を対象に在宅介護に関する知識や技術の習得を目的とした介護教室（研修会）などを実施した。（出前講座含む）

〔単位：回・名〕

	平成 29 年度	平成 28 年度
開催回数	24	59
養成者数	489	1,548

- 有資格未就労者及び介護業務従事者を支援する研修

介護現場で働いている人を対象に、介護技術等の質的向上及び職場への定着を目的とした研修会を実施した。

〔単位：回・名〕

	平成 29 年度	平成 28 年度
開催回数	4	10
養成者数	31	51

- ほっ・とプラザの協力員を対象とした「お出かけ同行サービス活動前研修」

ほっ・とプラザ協力員として活動している協力会員向けに、通院介助や社会参加のための外出支援サービスを目的とした研修会を実施しました。

〔単位：回・名〕

	平成 29 年度	平成 28 年度
開催回数	2	1
養成者数	33	19

- 一般市民を対象とした「福祉用具機器展 in さっぽろ 2017 ワークショップ」

福祉用具の作成体験を実施しました。

〔開催日〕平成 29 年 11 月 18 日

〔時間〕13:30～15:00

〔場所〕社会福祉総合センター 第 2 会議室

〔内容〕身の回りにある物を使って、福祉用具を作る体験教室

〔参加者〕16名

(5) 札幌市生活支援体制整備事業

札幌市生活支援体制整備事業の実施《A 1 (5)》

今後増加する単身高齢者等の多様な生活支援ニーズに対応するため、介護保険では対応できない生活支援サービスや介護認定を受ける前の段階の高齢者に対する生活支援の充実を図り、地域で支え合う体制づくりを推進します。全区に第1層に生活支援コーディネーターを配置し、地域にニーズに基づき、NPOや民間事業者など多様な資源と連携・協力を図り支え合いの仕組みづくりを展開します。



①生活支援コーディネーターの配置等

ア 生活支援コーディネーターの配置

第1層生活支援コーディネーターの配置 10区10名(区社協事務局次長兼務)
平成29年4月1日

第2層生活支援コーディネーターの配置 北区3名(専任)
平成29年10月1日

イ 区生活支援コーディネーター連絡会議の開催

第3回 平成29年8月22日 11:00~12:15

第4回 平成29年10月24日 11:00~12:15

第5回 平成29年12月26日 11:00~12:15

ウ 区生活支援コーディネーターフォローアップ研修会の開催

第1回

〔日 時〕平成29年8月29日 9:30~11:30

〔会 場〕札幌市社会福祉総合センター

〔参加者〕14名

〔内 容〕住民ワークショップの具体的な進め方について

第2回

〔日 時〕平成30年2月29日 9:00~12:00

〔会 場〕札幌市社会福祉総合センター

〔参加者〕34名

〔内 容〕「平成29年度事業開始区第1層生活支援コーディネーター実践発表」インストラクターから助言・コメント等
「北区第1層・2層の生活支援コーディネーターの取り組み」
北区第1層生活支援コーディネーター
「第2層生活支援コーディネーターの取り組み」
厚別区・豊平区第2層生活支援コーディネーター

エ 第2層生活支援コーディネーター連絡会

〔日 時〕平成30年1月29日 13:30~16:00

〔会 場〕札幌市役所

〔参加者〕12名

〔内 容〕提案書に基づく法人事業計画概要の説明
地域包括エリアごとにおける事業進捗状況
情報交換

オ 生活支援体制整備事業PRチラシの作成・配布(10000部)

②協議体の開催と関係者のネットワーク化

ア 第1回市生活支援推進連絡会の開催

〔日 時〕平成29年10月23日9:30～11:30

〔会 場〕かでの2・7

〔参加者〕69名(オブザーバー含む)

〔内 容〕行政説明『第2層生活支援コーディネーターの配置及び今後の総合事業の展開について』

札幌市保健福祉局介護保険課介護予防担当係長 星田 剛

報 告『平成29年度生活支援体制整備事業進捗状況について』

・事業統括【市域】の活動について

・3区コーディネーター【区域】の活動について

・7区コーディネーター【区域】の活動について

意見交換『関係機関における高齢者の生活支援に関する事業内容・情報提供及び今後の連携について』 等

イ 第2回市生活支援推進連絡会の開催

〔日 時〕平成30年3月29日9:30～11:30

〔会 場〕札幌市社会福祉総合センター

〔参加者〕47名(オブザーバー含む)

〔内 容〕報告『平成29年度生活支援体制整備事業の進捗状況について』

清田区第1層生活支援コーディネーターの取り組み(15分)

「社会福祉法人との連携による買い物支援について」

北区第2層生活支援コーディネーターの取り組み(15分)

意見交換「高齢者の買い物支援ニーズ及び取り組みについて」

行政説明『平成30年度札幌市生活支援体制整備事業について』

札幌市保健福祉局介護保険課介護予防担当係長 星田 剛

③高齢者の生活支援ニーズの把握

④社会資源の開発

⑤生活支援等サービス情報一覧の作成

生活支援等サービス情報一覧作成・配布(2,000部)

⑥生活支援ボランティアの養成と活動支援

⑦市民向けフォーラムの開催

支え合いを広げる地域づくりシンポジウムの開催

〔日 時〕平成29年12月18日14:00～16:00

〔会 場〕わくわくホリデーホール

〔参加者〕558名

〔内 容〕基調講演「みんなでつくろう あたたかいまち」

公益財団法人さわやか福祉財団会長 堀田 力氏

シンポジウム「地域が主役！支え合いのまちづくり」

北区太平百合が原地区北王第7町内会長 鈴木 誠氏

厚別区第1層生活支援コーディネーター 高木 啓太

2 福祉的な支援を必要とする方々を支える活動の推進

〔1〕高齢者・障がい者生活あんしん支援センターの運営

高齢者・障がい者生活あんしん支援センターの運営《A2(1)》

高齢者や障がい者が、安心して地域で暮らすことを支援するために、各種の相談事業をはじめ、日常生活自立支援事業や成年後見事業など権利擁護事業の総合的な相談窓口として運営します。



(1) 日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業の推進《A2(2)》

高齢や障がいのために、日常生活の判断に不安のある方が、地域で安心して暮らせるように、福祉サービスの利用支援、また、日常的な金銭管理や重要書類の預かり等を行いながら、関係機関と一層連携して、生活課題の解決を図ります。

また、認知症高齢者等の契約者に対する相談対応を適切に行うため、生活支援員の資質向上を図ります。



〔単位：件〕

	平成 29 年度	平成 28 年度
相談・調整件数	22,454	23,302

〔単位：件〕

契 約	平成 29 年度	平成 28 年度
高齢者	17	30
知的障がい	7	8
精神障がい	5	6
その他	0	3
合計	29	47

〔単位：件〕

解 約	平成 29 年度	平成 28 年度
高齢者	30	33
知的障がい	6	8
精神障がい	4	7
その他	1	2
合計	41	50

〔単位：件〕

現契約件数	平成 29 年度	平成 28 年度
高齢者	106	120
知的障がい	61	60
精神障がい	39	36
その他	7	9
合計	213	225

《生活支援員登録人数》

[単位：名]

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
29	30	27	20	17	20	26	16	23	25	19	223
28	38	37	33	21	31	29	20	32	38	22	301
27	29	33	30	17	34	25	16	27	30	19	260

[単位：件・名]

年度 合計	件数						人数				件数
	28 年度末	契約	解約	転出入 (移管)	区別 件数	専門別 担当数	認知症 高齢者	知的障 がい者	精神障 がい者	その他	契約前 調整
中央区	27	1	4	-1	23	45	7	9	5	2	3
南区	22	0	0	0	22		11	7	4	0	0
北区	22	4	4	0	22	22	16	3	3	0	8
東区	27	1	3	0	25	25	15	8	1	1	7
白石区	23	8	9	0	22	22	13	5	4	0	3
厚別区	23	0	6	0	17	22	8	3	5	1	0
清田区	4	5	4	0	5		2	3	0	0	0
豊平区	34	4	6	+2	34	34	13	9	10	2	6
西区	28	5	3	0	30	43	17	6	6	1	1
手稲区	15	1	2	-1	13		4	8	1	0	0
合計	225	29	41	0	213	213	106	61	39	7	28

①契約者への定期的な支援活動とモニタリングの実施

②生活支援員の養成と研修の実施

ア 啓発活動（出前講座など）

内容：日常生活自立支援事業や成年後見制度について

[単位：回・名]

開催内容（日程）	平成 29 年度		平成 28 年度	
	回数	参加者数	回数	参加者数
日自事業、成年後見制度等	6	190	26	1,095

イ 生活支援員登録に向けた研修・説明会

[開催日] ①平成29年7月18日及び25日

②平成29年12月14日及び12月21日

③平成30年3月7日

[場 所] 社会福祉総合センター

[内 容] 日常生活自立支援事業の概要、生活支援員の活動の概要・実
際（実践報告）他

[参加者／延べ人数] ①18名 ②28名 ③11名

ウ 生活支援員現任者研修

[開催日] 平成30年1月12日

[場 所] 社会福祉総合センター

[内 容] 「依存症支援の現状について」

北星学園大学 社会福祉学部教授 田辺 等氏

[参加者] 40名

エ 生活支援員登録者研修

[開催日] ①平成29年9月25日

②平成29年10月3日

〔場 所〕 社会福祉総合センター

〔内 容〕 ①② 「高次脳機能障害について」

脳外傷友の会コロポックル 高野 智子氏

〔参加者〕 ① 44名 ② 35名

③権利擁護審査会の開催

権利擁護審査会 11回（平成30年2月未実施）

〔開催日〕 毎月第3木曜日

〔場 所〕 社会福祉総合センター

④関係機関・団体との連携推進

⑤周知活動の推進

（2）法人後見事業

法人後見事業の推進《A2（3）》

家庭裁判所から法人として成年後見人に選任された場合には、被後見人の生活上に必要な法的契約手続き等（身上監護）及び財産管理を適切に行います。



○権利擁護審査会の開催

※ 権利擁護審査会（日常生活自立支援事業と併用）【再掲】 11回

〔単位：件〕

現受任件数	平成29年度	平成28年度
高齢者	3	4
知的障がい	2	2
精神障がい	1	1
その他	0	0
合計	6	6

(3) 成年後見制度利用支援事業

成年後見に関する事業の推進《A2(4)》

身寄りがなく、判断能力が低下した認知症高齢者等に対する権利擁護を推進するために、成年後見制度利用支援事業（市長申立の事務手続き等）を受託し、成年後見制度の利用促進を図ります。



また、今後、成年後見制度の活用がより見込まれる中で、親族や専門職後見人だけでは後見人不足が懸念されるために、市民後見推進事業を受託し、市民が後見人となる市民後見人養成研修の開催とともに、受任した市民後見人の活動支援について、専門職団体と連携して、支援体制を整備します。

①市長申立て事務及び報酬助成事務

○市長申立て事務 [単位：件]

現契約件数		平成 29 年度	平成 28 年度
札幌市に進達件数		31	28
内 訳	高齢者の方	25	22
	障がいのある方	6	6
申立て対応件数		50	31
申立て途中終了件数		15	20
その他対応件数		18	67
途中終了件数		46	2
合計（当該月末現在）		160	148

○後見人等報酬助成件数 [単位：件]

現契約件数		平成 29 年度	平成 28 年度
助成決定件数		44	43
内 訳	高齢者	28	32
	障がい者	16	11

②成年後見制度に関する相談の実施

○相談・調整件数 [単位：件]

	平成 29 年度	平成 28 年度
成年後見制度関係	236	186
市長申立関係	2,506	2,217
報酬助成関係	289	337
合計	3,031	2,740

(4) 市民後見推進事業

①市民後見実施機関の設置（市民後見人の活動支援等）

高齢者・障がい者生活あんしん支援センター内に市民後見実施機関を設置

ア 札幌市市民後見推進事業運営委員会 4回

イ 札幌市市民後見推進事業運営委員会 受任調整部会 3回

②市民後見人養成研修及びフォローアップ研修等の実施

○基礎研修

〔開催日〕平成29年9月7日～9月25日 全5回

〔場 所〕社会福祉総合センター

〔受講者〕21名

○実務研修

〔開催日〕平成29年10月31日～1月15日 全8回（実習含む）

〔場 所〕社会福祉総合センター、市内社会福祉施設 等

〔受講者〕21名

〔養成研修最終修了者〕20名

○フォローアップ研修

〔開催日〕平成29年6月9日～平成30年3月1日

1・2期生合同 全5回

〔場 所〕札幌市社会福祉総合センター 等

〔受講者〕1期生 32名

2期生 33名

③家庭裁判所の選任に基づいて後見活動を行う市民後見人の活動支援

④成年後見制度に関わる関係機関・団体との連携

〔開催日〕平成29年8月22日

〔場 所〕札幌市社会福祉総合センター

〔内 容〕各機関・団体からの現況報告、意見交換

〔参加者〕札幌家庭裁判所、専門職後見人機関、札幌後見支援の会、札幌市

(5) 福祉サービス苦情相談事業

権利擁護を推進する各種相談事業の推進《A2(5)》

高齢者や障がい者の権利擁護を推進するとともに、福祉サービス利用者が安心してサービスが受けられるよう、利用者保護の取り組みを促進します。



①福祉サービス苦情相談の実施

ア 《相談件数》

〔単位：件〕

	平成29年度	平成28年度
苦情	151	28
相談	96	78
問い合わせ	27	32
その他（対応含）	244	7
合計	518	145

イ 「平成28年度苦情取扱状況報告書」の作成（500部）

②福祉サービス調整委員会の開催（随時）

第1回 4月19日

第2回 10月18日

(6) 障がい者あんしん相談事業

①障がいのある方の権利擁護等に関する相談の実施

[相談件数]

[単位：件]

身体 危害	財産	相続	金融	雇用	職場 関係	知人 関係	家族 関係	その他	計
14	6	16	50	42	100	154	151	2,310	2,843
5	6	4	73	29	81	196	123	2,099	2,616

※上段は、今年度、下段は前年度実績

②法律相談の実施

[法律相談件数] (毎月第2水曜日実施)

[単位：件]

身体 危害	財産	相続	金融	雇用	職場 関係	知人 関係	家族 関係	その他	計
1	1	5	5	2	0	2	0	0	16
1	0	2	6	0	0	0	0	2	11

※上段は、今年度、下段は前年度実績

○札幌市地域自立支援協議会への参画 7回

(7) 障がい者虐待相談事業

①障がいのある方の虐待に関する相談の実施

[相談件数] 42件 (38件)

[虐待通報] 14件 (1件) (重複項目あり)

[単位：件]

身体的 虐待	心理的 虐待	性的虐待	放棄放任	経済的 虐待	その他	計
31	76	9	11	18	6	151
30	69	0	8	13	52	172

※上段は、今年度、下段は前年度実績

②虐待防止に関する啓発研修(出前講座を含む)の実施

ア 障がい者の就労を当事者ととともに考えるシンポジウム

～職場における虐待の防止にむけて～

[対象] 障がい当事者・企業等雇用担当者・支援事業所職員

[開催日] 平成29年9月24日

[場所] 札幌市社会福祉総合センター4階大研修室

[内容]

第1部「法律や制度を知ろう」

講話1「使用者による障害者虐待の現状と労働基準・最低賃金のあらまし」

北海道労働局労働基準部監督課

主任監察官 山崎 陽子 氏

第2部「障がい者雇用の現状について」

講話2「障がい者雇用における当事者と事業所への支援」

北海道障害者職業センター

センター長 馬場 正充 氏

講話3「障がい者就労の現場から」

生活協同組合 コープさっぽろ人事本部労政部

障害者採用・支援担当 奈良岡 司 氏

第3部「仕事・生活で困ったら？当事者の皆さんと考える」

講話4「就業・生活支援センターから」

就業・生活支援センター からびな

室長

熊本 浩之 氏

講話5「働く当事者からの報告」

札幌市社会福祉協議会当事者講師

まいむ 氏

当事者講師

Mr. X 氏

全体討議

進行 就業・生活相談室 からびな 室長 熊本 浩之 氏

[参加者] 105名(182名)

イ 障がい者虐待防止セミナー

[対象] 民生委員・児童委員、一般市民

[開催日] 平成29年12月11日

[場所] 札幌市社会福祉総合センター4階大研修室

[内容] ①講演「障がい者が自分らしく暮らせる地域支援」

講師 社会福祉法人ゆうゆう 理事長 大原 裕介 氏

②講演「障がい者虐待防止に向けた通報・相談体制と事例への対応」

講師 札幌市保健福祉局障がい保健福祉部

障がい福祉課個別支援主査

鈴木 亨 氏

[参加者] 181名(201名)

ウ 障がい者虐待防止出前講座

[開催回数] 23回(13回)

[参加者] 439名(522名)

7月12日 (医社) 健心会ソエル 12名

7月14日 札幌市自立支援協議会障がい者支援員養成研修 140名

7月19日 (特非) ジャイフル 15名

7月22日 ヘルパーステーションもなみの里 13名

7月24日 (社福) 楡の会 30名

7月28日 聴覚障がい者支援センターほほえみ西 8名

8月6日 (有) 優愛 いこいケアセンター 17名

9月6日 (公社) リーガルサポート 17名

9月29日 (株) キープアップ 23名

9月29日 (特非) 楽創 コンポステラ 17名

10月11日 社会福祉法人 あむ 10名

10月12日 ドリームハウス訪問介護事業所 16名

10月16日 (特非) Re～らぶ 7名

10月21日 (特非) 共働友楽舎 ありすくくらぶ 22名

10月25日 社会福祉法人 あむ 12名

11月1日 社会福祉法人 光生舎 プラザインサッポロ 12名

11月8日 (社医) 愛心館訪問看護ステーション来夢ライン 15名

11月10日 社会福祉法人 光生舎 すまいる八軒 8名

11月11日 北海道失語症友の会「北の会」 32名

- 1月16日 社会福祉法人 恵友会 つばさ 22名
 1月12日 公益財団法人 北海道YMCA さんかく 12名
 2月16日 エール生活支援ステーション 15名
 3月14日 A型就労継続支援アイビー 18名
- エ 札幌市障がい者虐待防止ネットワーク会議
 平成29年度第一回会議 平成29年10月16日開催
 平成29年度第二回会議 平成30年3月19日開催

(8) 高齢者虐待電話相談事業

○高齢の方への虐待に関する電話相談の実施

[相談・対応件数] 102件

[虐待通報] 36件

[単位：件] 重複有

身体的虐待	心理的虐待	放棄放任	経済的虐待	性的虐待	計
15	17	7	1	0	40
5	8	0	3	0	16

※上段は、今年度、下段は前年度実績

(9) 中国帰国者生活相談室運営事業

○中国帰国者等の生活相談の実施

[相談件数] 4,323件

[単位：件]

就労	生活	国籍	医療	教育	住宅	日本語	悩み	支援 給付	支援 計画	その他	合計
7	979	0	2,629	68	47	3	11	515	41	23	4,323
10	973	0	3,392	153	63	23	0	551	60	29	5,254

※上段は、今年度、下段は前年度実績

[その他] 中国・樺太帰国者文化祭に協力、中国帰国者新年交流会に協力

〔2〕各種資金貸付事業の推進

各種資金貸付事業の推進《A2(7)》

低所得世帯などの自立更生に向けた相談・支援をとおして今後の安定した生活を目指していただくことを基本に地域福祉の増進に繋がる事業のひとつとして取り組みます。



社会福祉協議会が行う各種貸付制度は、社会福祉法の中で第1種社会福祉事業位置付けられています。平成27年4月の生活困窮者自立相談支援制度の施行に伴い、生活困窮者の自立支援の一翼を担うことが期待されており、自立相談支援機関との連携のもとで、借受人の自立に向けた支援の充実を図ります。

(1) 生活福祉資金貸付事業（不動産担保型生活資金、要保護世帯向け不動産担保型生活資金、臨時特例つなぎ資金を含む）

〔貸付実績〕

① 生活福祉資金の貸付

年度 資金種別	平成 29 年度		平成 28 年度	
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)
福祉資金	19	13,004	21	16,855
緊急小口資金	49	4,117	20	1,707
教育支援資金	91	160,563	74	85,835
臨時特例 つなぎ資金	0	0	0	0
総合支援資金 生活支援費	1	342	1	420
総合支援資金 住宅入居費	0	0	0	0
総合支援資金 一時生活再建費	0	0	0	0
不動産担保型 生活資金	1	94	2	210
要保護世帯向け 不動産担保型生活資金	9	859	2	148
合 計	160	178,026	116	104,817

※『不動産担保型生活資金』および『要保護世帯向け不動産担保型生活資金』は、月額貸付のため、合計額に計上していない。

(2) 特別（冬期）生活資金貸付事業

	平成 29 年度	平成 28 年度
貸付件数（件）	3	7
貸付金額（千円）	150	330

(3) 札幌市保育士就学資金等貸付事業

資金種別	平成 29 年度		平成 28 年度	
	件数（件）	金額（千円）	件数（件）	金額（千円）
保育士修学資金	276	93,550	0	0
保育補助者雇上費	7	7,953	0	0
未就学児をもつ保育士に対する保育料の一部貸付	145	9,020	10	568
合計	428	110,523	10	568

(4) 応急援護資金貸付事業

	平成 29 年度	平成 28 年度
貸付件数（件）	16	18
貸付金額（千円）	1,414	1,642

(5) 要保護世帯等援護事業

公的制度の補完を図るため、札幌市からの補助金を財源に、被保護世帯あるいは要保護世帯等を対象として、一時的な援助を行なっています。

- ①要保護世帯援護一時貸付金（保護開始までのつなぎ資金）
- ②一時宿泊困窮者緊急援護資金
- ③一時浮浪者援護資金（浮浪者移送費）
- ④冬季暖房器具購入資金

(6) その他

- ①生活福祉資金貸付調査委員会の開催
毎月1回／計12回開催（定例開催）
- ②札幌市生活就労支援センター・ステップへの協力及び連携
ア) 出張相談 13回
イ) 支援調整会議への出席 3回
- ③無縁物故者盂蘭盆法要の実施
日時：平成29年8月18日 午後4時～午後5時
会場：浄土宗北縁山 新善光寺

〔3〕在宅福祉サービス事業の推進

（1）自主事業による在宅福祉サービス提供

①地域支え合い有償ボランティア事業【再掲1〔5〕（2）】

- ・家事援助サービス（えぷろんサービス）の実施
- ・生活支援サービス（かいてきサービス）の実施
- ・外出援助サービス（お出かけ同行サービス）の実施

②さわやかヘルプサービス

さわやかヘルプサービス《B1（2）》



介護保険法または障害者総合支援法では対応できない方へ、自立支援・介護予防の観点からホームヘルプサービスを提供します。

	平成 29 年度	平成 28 年度
利用者数（名）	1,644	1,692
回数（回）	5,057	5,687
時間数（時間）	5,207	5,664
収入（円）	12,113,415	13,165,666

※利用者数は介護保険及び障害者総合支援利用者とは重複する。

（2）介護保険法等による在宅福祉サービスの提供

①訪問介護、介護予防訪問介護及び総合事業〔ヘルパーセンター〕

訪問介護、介護予防訪問介護事業及び札幌市日常生活支援総合事業《B2（1）》



要介護認定や要支援認定又は総合事業対象者となった方との契約により、ホームヘルパーが居宅サービス計画又は介護予防支援計画書及び訪問介護計画、介護予防訪問介護計画または札幌市訪問介護相当型サービス計画書に基づいた訪問介護、介護予防訪問介護又は札幌市訪問介護相当型サービスを提供します。

〔事業所〕 中央、北、東、白石・厚別・清田、豊平、南、西、手稲
（中央、北は24時間巡回型併設）

〔主な内容〕 要介護認定、要支援認定又は総合事業対象者となった方との契約により、ホームヘルパーが居宅サービス計画及び訪問介護計画に基づいた訪問介護、介護予防訪問介護又は札幌市訪問介護相当型サービスを提供する。

利用者数（人）			回数（回）			時間数（時間）		
訪問 介護	介護 予防	総合 事業	訪問 介護	介護 予防	総合 事業	訪問 介護	介護 予防	総合 事業
13,920	5,100	5,732	141,422	28,127	31,229	155,310	25,796	27,803
13,133	11,450		139,614	65,721		157,263	60,989	

※上段は、今年度、下段は前年度実績

②地域密着型サービス事業

地域密着型サービス事業《B2(2)》

夜間の訪問介護において、定期巡回と通報による随時訪問を組み合わせるにより、利用者が要介護状態になっても24時間安心して在宅生活を送られるよう支援するため、夜間対応型訪問介護事業を提供します。



また、訪問看護ステーションと連携を図りながら、24時間体制でホームヘルパーが計画に基づいた訪問介護を提供する、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業を提供します。

ア 夜間対応型訪問介護事業 [ナイトケアセンター]

[事業所] 中央

[主な内容] 訪問介護において、定期巡回と通報による随時対応を組み合わせるにより、利用者が要介護状態になっても24時間安心して在宅生活を送れるように支援する。

[単位：名]

	平成29年度	平成28年度
利用者数	1,391	1,363

イ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業 [あんしん24]

[事業所] 中央、北

[主な内容] 市内2区2か所の定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所にて、訪問看護ステーションと連携を取りながら、24時間体制でホームヘルパーが計画に基づいた訪問介護を提供する。

[単位：名]

	平成29年度	平成28年度
利用者数	69	112

③居宅介護支援及び介護予防支援事業 [総合支援センターえがお、相談センター]

居宅介護支援及び介護予防支援事業《B2(3)》

要介護認定または要支援認定を受けた被保険者との契約により、在宅生活を支援するため介護支援専門員が居宅介護支援または介護予防支援を提供します。



[事業所] 総合支援センターえがお、中央、北、東、白石・厚別・清田、豊平、南、西、手稲

[主な内容] 要介護認定を受けた被保険者との契約により、介護支援専門員が居宅介護支援を提供する。

[単位：名]

	平成29年度	平成28年度
利用者数	42,497	38,931

④特定入居者生活介護及び介護予防特定施設入居者生活介護事業 [長生園]

特定入居者生活介護及び介護予防特定施設入居者生活介護事業 《B2(4)》

長生園の入所者が、心身の状態の変化等により、介護保険サービスを受ける必要が生じた場合に、自立した日常生活を送るため、施設相談員が個別の介護計画等を作成した上、必要なサービスを提供します。



[内 容] 長生園の入所者が、心身の状態の変化等により、介護保険サービスを受ける必要が生じた場合に、自立した日常生活を送るため、施設相談員が個別の介護計画等を作成したうえ、必要なサービスを提供。

[単位：名・日]

利用状況	平成 29 年度	平成 28 年度
延べ実施者数	1,558	2,953
実人員（月毎、累計）	59	115
実施日数	344	343

⑤通所介護事業、介護予防通所介護事業及び札幌市通所型サービス（7か所）

通所介護事業所及び介護予防通所介護事業所の運営事業《B2(5)》

要介護又は要支援にある高齢者に対し、通所により各種のサービスを提供することによって、当該者の自立生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の身体的、精神的負担の軽減を図ります。



[実施場所] 中央、東、厚別、豊平、南、西の各老人福祉センター、屯田西老人デイサービスセンター（指定管理）

[内 容] 要介護状態又は要支援状態にある高齢者に対し、通所により各種のサービスを提供することによって、当該者の自立的な生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の身体的、精神的な負担の軽減を図った。

また、平成26年4月より新たに札幌市屯田西老人デイサービスセンターの指定管理者に指名され、当該施設の運営を行った。

○利用状況（全体：延べ利用人数）

[施設別利用状況]

[単位：名・日]

施設名		平成 29 年度	平成 28 年度
中央	延べ利用人数	5,470	4,826
	実利用人数	724	641
東	延べ利用人数	6,185	6,465
	実利用人数	920	925

厚別	延べ利用人数	4,141	4,282
	実利用人数	553	503
豊平	延べ利用人数	5,957	5,898
	実利用人数	894	889
南	延べ利用人数	5,594	5,549
	実利用人数	780	798
西	延べ利用人数	5,817	5,500
	実利用人数	735	766
屯田西	延べ利用人数	6,348	6,150
	実利用人数	871	842
計	延べ利用人数	39,512	38,670
	実利用人数	5,477	5,406
1日平均利用人数		18.2	17.9
延べ実施日数		2,169	2,165

⑥医療保険法等による訪問看護、介護保険法による訪問看護及び介護予防訪問看護事業〔訪問看護ステーション〕

医療保険法等による訪問看護、介護保険法による訪問看護及び介護予防訪問看護事業《B2(6)》

主治医の指示に基づき、利用者と契約を行い、在宅での療養生活を支援するため看護師による訪問看護を提供します。



〔事業所〕 訪問看護ステーションあんしん

〔主な内容〕 中央区に1ヶ所訪問看護ステーションを開設し、看護師等による訪問看護を提供する。

〔単位：名〕

	平成29年度	平成28年度
訪問看護	1,066	916
定期巡回・随時対応型訪問介護看護連携型	183	46

⑦障害者総合支援法による在宅福祉サービス事業〔ヘルパーセンター〕

障害者総合支援法による在宅福祉サービス事業《B2(7)》

当該法律に基づく支給決定を受けた利用者との契約により、ホームヘルパーが個別支援計画に基づいて支給決定量の範囲内で居宅介護等を提供します。



〔事業所〕 中央、北、東、白石・厚別・清田、豊平、南、西、手稲（中央、北は24時間巡回型併設）

〔主な内容〕 障害者総合支援法に基づく支給決定を受けた受給者との契約により、ホームヘルパーが個別支援計画に基づいて支給決定量の範囲内で、居宅介護、重度訪問介護、同行援護及び移動支援を提供する。

	平成 29 年度	平成 28 年度
利用者数（名）	8,400	8,201
回数（回）	96,440	98,851
時間数（時間）	107,709	110,002

（3）札幌市からの委託による各種保健福祉事業の提供

①札幌市高齢者生活支援型ホームヘルプサービス事業 [ヘルパーセンター]

札幌市高齢者生活支援型ホームヘルプサービス事業《B3（1）》

介護保険の要介護認定において自立と判定された高齢者で、札幌市各区保健福祉部が在宅生活を営むうえで支援が必要と認めた高齢者に対し、ホームヘルプサービスを提供します。



〔主な内容〕 平成 11 年度に廃止前の札幌市旧要綱に基づくホームヘルプサービスを利用していた者で、介護保険の要介護認定において自立と判定された高齢者等、区保健福祉部が在宅生活を営むうえで支援が必要と認めた高齢者に対し、ホームヘルプサービスの提供を行う。

	平成 29 年度	平成 28 年度
利用者数（名）	12	12
回数（回）	24	24
時間数（時間）	48	48

②札幌市養育支援員派遣事業 [ヘルパーセンター]【新規事業】

児童虐待等の問題を抱える家庭に対し、児童虐待の発生・再発の防止等を図るため、養育支援員（ヘルパー）の継続的な訪問による支援等を行うことにより、当該家庭において安定した児童の養育を可能とすることを目的としています。

〔主な内容〕 児童虐待等の問題を抱える家庭に対し、札幌市の措置決定によるヘルパー派遣が平成 29 年 12 月からスタートしました。対象家庭に直接出向いて、家事・育児に関する支援、相談助言等を行います。

	平成 29 年度	平成 28 年度
利用者数（名）	6	-
回数（回）	21	-
時間数（時間）	39	-

③札幌市地域包括支援センター運営事業（8か所）

札幌市地域包括支援センター運営事業《B3（2）》

高齢者等が住みなれた地域で適切なサービスを利用して、自立した生活を継続することができるように、地域の中核機関として関係機関と連携しながら、保健・医療・福祉の向上及び増進を図ります。



保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員が、総合相談事業のほか、高齢者虐待の防止などの権利擁護事業、地域の介護支援専門員等の相談・支援、虚弱な高齢者が介護の必要な状態とならないように介護予防の支援等を実施します。

[事業所] 中央区第1、北区第1、北区第2、北区第3、東区第1、東区第3、豊平区第1、西区第2

ア 地域ケア会議の開催(地域ケア会議：各地域ケア会議、準備会含)

[実績数]

[単位：件]

	平成29年度	平成28年度
中央第1	64	73
北第1	71	64
北第2	54	59
北第3	55	64
東第1	94	83
東第3	79	64
豊平第1	69	82
西第2	56	26
合計	542	515

イ 地域包括支援センター運営事業

《総合相談支援》

[単位：件]

	平成29年度	平成28年度
介護保険制度	8113	7273
介護予防	159	257
その他の保健福祉サービス	273	240
権利擁護	91	120
消費者被害	5	13
認知症	761	466
高齢者虐待	54	42
住まいに関すること	753	467
心身の健康に関すること	499	265
その他	763	573
合計	11471	9716

○総合事業サービス支援計画作成数（新規、更新・変更含む）

《介護予防ケアマネジメント》

[単位：件]

	平成 29 年度	平成 28 年度
中央第 1	1044	—
北第 1	857	—
北第 2	703	—
北第 3	781	—
東第 1	961	—
東第 3	770	—
豊平第 1	466	—
西第 2	822	—
合計	6404	—

○要支援 1・2 介護予防ケアプラン作成数（直営、再委託含む）〔単位：件〕

中央第 1		北第 1		北第 2		北第 3	
要支援 1	要支援 2	要支援 1	要支援 2	要支援 1	要支援 2	要支援 1	要支援 2
324	575	251	529	372	504	218	428
842	643	709	1,002	643	711	530	665
東第 1		東第 3		豊平第 1		西第 2	
要支援 1	要支援 2	要支援 1	要支援 2	要支援 1	要支援 2	要支援 1	要支援 2
301	466	237	367	527	683	354	463
723	877	641	539	854	1,104	912	896
合計							
要支援 1	要支援 2						
2,584	4,015	6,599					
5,703	6,479	12,182					

※上段は、今年度、下段は前年度実績

《地域ケア体制の構築》

〔単位：回〕

中央第 1		北第 1		北第 2		北第 3	
ケース検討会議	その他関係組織・機関との連携	ケース検討会議	その他関係組織・機関との連携	ケース検討会議	その他関係組織・機関との連携	ケース検討会議	その他関係組織・機関との連携
0	187	3	223	3	188	13	268
8	233	4	192	6	271	5	379
東第 1		東第 3		豊平第 1		西第 2	
ケース検討会議	その他関係組織・機関との連携	ケース検討会議	その他関係組織・機関との連携	ケース検討会議	その他関係組織・機関との連携	ケース検討会議	その他関係組織・機関との連携
14	290	5	294	1	78	12	235
30	251	13	236	1	129	0	180
合計							
ケース検討会議	その他関係組織・機関との連携						
51	1,763						
67	1,871						

※上段は、今年度、下段は前年度実績

④札幌市介護予防センター運営事業（6か所）

札幌市介護予防センター運営事業《B3（3）》

地域の身近な相談窓口として、地域福祉活動と連携して介護予防の支援が必要な高齢者の早期把握と早期支援を行うとともに、介護予防事業を通して、地域住民や一般高齢者に対する介護予防の普及啓発を行います。



[事業所] 中央区・大通公園、北区・新道南、東区・北栄、豊平区・美園
南区・まこまない、手稲区・中央鉄北

ア 地区地域ケア会議の開催（地域ケア会議：各地域ケア会議、準備会等含）

[単位：件]

	平成 29 年度	平成 28 年度
大通公園	22	22
新道南	34	39
北栄	24	19
美園	46	47
まこまない	36	49
中央・鉄北	33	30
合計	195	206

イ 総合相談支援 [単位：件]

相談内容	平成 29 年度	平成 28 年度
介護保険制度	208	126
介護予防	429	280
その他の保健福祉サービス	77	9
権利擁護	4	2
消費者被害	3	2
認知症	92	40
高齢者虐待	0	0
住まいに関すること	45	21
心身の健康に関すること	221	102
その他	73	130
合計	1152	712

《介護予防啓発普及事業実施件数》

[単位：件・名]

	大通公園		新道南		北栄		美園	
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数
介護予防教室	70	916	79	1,641	114	2,045	40	1,250
	3	44	12	292	0	0	0	0
研修会・講演会	0	0	9	151	14	144	2	41
	0	0	1	53	3	17	0	0
相談会	0	0	0	0	1	7	3	132
	2	2	0	0	0	0	3	33
イベント	2	1	2	79	0	0	8	487
	0	0	2	69	3	188	6	551
合 計	72	917	90	1,871	129	2,196	53	1,910
	62	1,314	84	1,937	67	1,492	51	1,878
事業内容	まこまない		中央・鉄北		合 計			
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数		
介護予防教室	86	1,587	60	881	449	8,320		
	44	519	35	551	206	4,124		
研修会・講演会	0	0	2	43	27	379		
	12	331	3	44	30	711		
相談会	0	0	0	0	4	139		
	0	0	0	0	5	35		
イベント	1	34	7	245	20	846		
	2	85	0	0	13	893		
合 計	87	1,621	69	1,169	500	9,684		
	85	1,631	60	919	409	9,171		

※上段は、今年度、下段は前年度実績

エ 地域福祉活動支援業務の実施

[実績数]

[単位：件・名]

	大通公園		新道南		北栄		美園	
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数
民生委員 児童委員	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉のまち推 進活動従事者	0	0	0	0	10	224	0	0
	0	0	0	0	1	75	0	0
町内会組織・ 地区社協	3	232	7	217	18	591	1	25
	9	276	16	267	5	419	2	63
老人クラブ	6	193	19	468	2	48	8	264
	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	4	40	7	247	13	76	1	19
	26	230	40	859	37	445	18	396
合 計	13	465	33	932	43	939	10	308
	35	506	56	1,120	43	939	20	459

	まこまない		中・鉄北		合 計	
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数
民生委員 児童委員	1	30	5	48	6	78
	0	0	20	233	20	233
福祉のまち推 進活動従事者	0	0	4	105	14	329
	1	32	36	483	38	590
町内会組織・ 地区社協	1	145	5	199	35	1,409
	4	319	12	305	48	1,649
老人クラブ	15	286	17	488	67	1,747
	—	—	—	—	—	—
その他	2	20	1	1	28	403
	36	564	39	459	196	2,953
合計	19	481	32	841	150	3,966
	41	915	111	1,487	306	5,432

オ 地域ケア体制の構築

[単位：回]

	大通公園	新道南	北栄	美園	まこまない	中央・鉄北	合計
その他会議 の参加	0	3	1	0	0	0	4
	0	2	0	0	0	0	2
地区組織と の連携	37	34	16	55	71	73	286
	22	29	19	57	63	9	199
その他 関係機関 との連携	60	45	67	82	28	38	320
	60	23	35	95	34	51	298

※上段は、今年度、下段は前年度実績

④自主活動化支援事業（8か所）

自主活動化支援事業《B3（4）》

老人福祉センターにおいて、住民主体の介護予防活動のキーパーソンとして活動している方、または今後活動予定の方に自主的な運営のノウハウに関する助言や技術的指導、交流の機会を提供することにより住民主体の介護予防活動が継続的に実施され地域の中における生きがいや役割を持つ高齢者が増えることや住民同士の交流により地域の活性化を図ります。（H29年12月～H30年3月まで実施）



[実施場所]中央、東、白石、厚別、豊平、清田、南、西の各老人福祉センター

[単位：名]

施設別利用回数	平成29年度	平成28年度
中央	14	-
東	18	-
白石	25	-
厚別	34	-
豊平	13	-
清田	21	-
南	20	-

西	21	-
合計	166	-

⑤生活機能向上支援事業

生活機能向上支援事業《B3(5)》

老人福祉センターにおいて、日常生活に必要な家事能力を維持または向上されるための講座を実施することにより、日常生活の活動性を高め、介護サービスに頼らない高齢者を増やし、生きがいつくりや自立した生活の継続支援を行うことにより、生活の自立に対する意識向上を図ります。(H29年12月～H30年3月まで実施)



[実施場所]中央、東、白石、厚別、豊平、清田、南、西の各老人福祉センター
[単位：名]

施設別利用回数	平成29年度	平成28年度
中央	150	-
東	143	-
白石	115	-
厚別	123	-
豊平	87	-
清田	82	-
南	119	-
西	57	-
延べ利用人数	876	-

⑥札幌市短期集中予防型訪問指導事業

札幌市短期集中予防型訪問指導事業《B3(6)》

平成29年4月から施行された介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型サービスとして、地域包括支援センター等が作成した介護予防ケアプラン等に基づき、本会が委託した訪問指導員（保健師・看護師）が月1～2回の訪問指導を3～6か月の短期間に集中的に行い、要介護状態になることを予防します。



[単位：回]

		平成29年度
回数	訪問指導等	401
	サービス担当者会議等	103

⑦札幌市要介護認定調査事務事業〔調査センター〕

札幌市要介護認定調査事務事業《B3（7）》

指定市町村事務受託法人の事業として、札幌市やその他全国の市町村から（実施地域は札幌市内）の依頼により、介護支援専門員である要介護認定調査員が調査対象者を訪問し定められた調査項目に基づいて認定調査を行います。



〔単位：件〕

サービス		平成 29 年度	平成 28 年度
札幌市	介護保険	76,879	76,012
	生活保護	620	669
他市町村		3,790	3,399

⑧札幌市高齢者生活支援型ショートステイ事業〔長生園〕

札幌市高齢者生活支援型ショートステイ事業《B3（8）》

長生園において、介護保険の要支援・要介護に該当しないが生活支援を必要としている高齢者について、そのご家族等が、病気や事故、冠婚葬祭等の理由により、止むを得ず一時的に支援できなくなったとき、長生園でその高齢者を宿泊によりお世話いたします。



〔単位：名・日〕

利用状況	平成 29 年度	平成 28 年度
利用人員	12	8
延べ利用日数	118	100

⑨さっぽろ子育てサポートセンター事業【再掲：1〔5〕（3）】

〔4〕在宅支援に関する研修事業の推進【再掲 1〔5〕（4）】

〔4〕施設福祉サービス事業等の推進

〔1〕養護老人ホーム札幌市長生園管理運営事業（札幌市指定管理者施設）

養護老人ホーム札幌市長生園管理運営事業（措置による入所者の支援） 《C1》

環境上の理由や経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な高齢者に対し、入所により養護するとともに自立した生活を営み、社会参加するために必要な指導及び訓練その他の援助を行います。



〔施設概要〕 居室50室（個室）、浴室、食堂兼集会室、医務室、ショートステイ1室3床

〔入所定員〕 50名

〔内 容〕 環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な高齢者に対し、入所して養護するとともに、自立した日常生活を営み、社会参加活動に参加する

ために必要な指導及び訓練その他の援助を行った。
 また、特定施設入居者生活介護施設として、自立した生活が困難になってきている入所者に対し介護保険サービスを提供する等、サービスの向上を図った。

[年齢別状況]

年齢 \ 性別	男	女	計
69才以下	2名	2名	4名
70才～74才	1名	1名	2名
75才～79才	0名	7名	7名
80才～84才	1名	19名	20名
85才以上	2名	14名	16名
合計	6名	43名	49名
構成比	12.2%	87.8%	100.0%

①措置による養護老人ホーム入居者の支援

ア 生活指導の実施

- a) 入所者に対し深い理解と関心を持って接し、秩序ある集団生活が営まれるよう指導助言の実施。
- b) 入所者の生活向上のための指導の実施。
- c) 生活相談員による生活相談。(随時)
- d) 入所者の身体的及び精神的条件に応じ、機能の回復、及び減退の防止。
- e) 入所者の個別処遇計画の調整、指導それに伴う全職員参加による処遇会議の開催。(毎週木曜日)
- f) 24時間入所者が安心して園生活を送れるよう夜勤体制の実施。

イ 給食の実施

- a) 給食は、食品の種類及び調理法、入所者の身体的特性に適合した栄養が確保されるよう考慮し、入所者の身体的状況及び嗜好を考慮した献立により実施。
- b) 管理栄養士による週間予定献立表及び実施献立表の作成・掲示、また、病弱者に対しては医師の指導による症状に適した特別食の献立の実施。
- c) 食堂で食事の摂取ができない入所者に対して、居室での食事介助。

ウ 保健衛生等の実施

- a) 入所者に対し保健衛生、健康管理の維持の向上。
- b) 看護職員による健康相談の実施(平日毎日)。
- c) 入所者の健康診断を年2回実施。
- d) 医師による診察を週1回程度医務室において実施。
- e) 必要な予防接種並びに検診の実施。
- f) 医師の指示による疾病者の処置及び看護。
- g) 施設の内外を常に清潔に保つ
- h) 入浴は、原則として月、水、金の週3回実施し、最低週2回入浴することを徹底。(必要に応じシャワー浴・清拭の実施)
- i) クリーンルームにより感染症予防対策の徹底。
- j) AED(自動体外式除細動器)の常備により、入園者の安全管理の徹底。

②介護予防事業の実施

・入園者の介護予防のため、様々な介護予防事業を実施した。

《介護予防事業実施状況》 [単位：名]

実施状況	平成 29 年度	平成 28 年度
はっらっ健康体操	463	487
嚙下(えんげ)体操	14,375	14,199

③余暇活動の実施

《各種クラブ活動実施状況》 [単位：名]

クラブ名	平成 29 年度	平成 28 年度
書 道	87	100
茶道	77	198
詩 吟	170	121
カラオケ	168	211
手 芸	8	133
元 気	526	0

《教養娯楽行事及び季節に合わせたレクリエーション行事实施状況》

[単位：名]

実施月	行事名	参加人数
4 月	ミニ講話	26
	手芸クラブ	8
5 月	桜見学	16
	バスレク	16
	花祭り	49
	花植え	17
	4・5月合同誕生会	49
6 月	さより保育園	5
	知っ得講話	33
	神輿渡御	11
	避難訓練バスレク	46
7 月	園長月例挨拶	42
	花壇整備	8
	ハワイアンフラダンス	32
	知っ得講話	26
	長生園夏祭り	43
8 月	園長月例挨拶	47
	札幌ふれあいコンサート	25
	花火大会	29
	買物し隊	5
	きらく会ゲーム大会	10
	体力測定会	39

9月	園長月例挨拶	41
	知っ得講話	25
	大谷第二幼稚園慰問	30
	盆踊り・民謡慰問	28
	生花講習会	5
	入園者懇談会	36
	入園者健康診断(5日間)	47
10月	園長月例挨拶	32
	体育の日	44
	バスレク	12
	知っ得講話	28
11月	園長月例挨拶	42
	文化の日	45
	勤労感謝の日	43
	10・11月合同誕生会	46
	合同作品展	605
	インフルエンザ予防接種	40
	クリスマス飾り	11
12月	園長月例挨拶	42
	クリスマス会	38
	柚子茶会	40
	入園者懇談会	44
	買物し隊	11
1月	カルタ大会	20
	新年会	46
	書初め	3
	初釜	10
	ゆき灯りのまち	48
	園長月例挨拶	39
	12・1月合同誕生会	46
	七草粥	46
2月	節分	45
	園長月例挨拶	46
	雛人形飾り	9
	節分豆まき	45
	きらく会合唱練習	14

3月	ひな祭り	42
	春分の日	44
	知っ得講話	23
	園長月例挨拶	46
	2・3月合同誕生会	46
	お料理し隊	25
	入園者懇談会	38
	きらく会演芸交流会	8
	さより保育園交流会	13

④住環境の整備

・入園者の重度化により、居室に手すりを設置するなど個別対応を実施した。

⑤介護保険法による特定入居者生活介護及び介護予防特定施設入居者生活介護事業【再掲：2〔3〕（2）④】

⑥その他

- ・入園者の日用品等の管理
- ・居室等各設備の管理

（2）札幌市老人福祉センター管理運営事業（8か所）（札幌市指定管理者施設）

老人福祉センター管理運営事業《C2》

市内に居住する60歳以上の方に対し、通所利用により、各種相談をはじめ、健康増進、教養の向上及びレクリエーション等の場を総合的に提供することにより、高齢者の健康で明るい生活を営むための支援を行います。



〔実施場所〕中央区、東区、白石区、厚別区、豊平区、清田区、南区、西区の各老人福祉センター

ア 利用状況

- a) 延べ利用人数 497,025名（前年同期 518,386名）
b) 登録人数 1,676名（前年同期 1,973名）

《各施設別利用状況》

〔単位：名〕

施設	利用状況	平成29年度	平成28年度
中央	延べ利用人数	61,012	60,851
	登録人数	246	397
東	延べ利用人数	76,320	79,107
	登録人数	217	235
白石	延べ利用人数	76,075	75,935
	登録人数	244	248
厚別	延べ利用人数	36,014	55,888
	登録人数	218	258
豊平	延べ利用人数	42,668	43,031
	登録人数	176	173
清田	延べ利用人数	84,238	81,981
	登録人数	196	200

南	延べ利用人数	53,612	53,602
	登録人数	139	170
西	延べ利用人数	67,086	67,991
	登録人数	240	292
合計	延べ利用人数	497,025	518,386
	登録人数	1,676	1,973

イ 事業内容（全体）

a) 各種相談事業

・生活相談

心配ごと、暮らし等の生活上の相談(随時)、結婚を希望する高齢者の相談(北海道マッジカウンセリングセンターから専門相談員の派遣により月1回実施)

・健康相談

健康管理についての相談、看護師による相談(随時)、医師等による相談

《各種相談事業》 [単位：名]

事業	利用状況	平成29年度	平成28年度
各種 相談事業	生活相談	2,592	2,299
	健康相談	601	848

ウ 健康増進事業

・健康管理

血圧測定等による、運動、食事及び入浴などの助言指導(随時)

・機能回復訓練

体力の維持、向上、増進及び後退機能の回復のための訓練機器を設置し、正しい使い方の指導や助言(随時)

《健康増進事業》 [単位：名]

事業	利用状況	平成29年度	平成28年度
健康増進事業	健康管理	59,228	63,697
	機能回復訓練	63,170	66,015

エ 入浴

オ 健康生活応援事業

心身とも健康な生活を営むために必要な知識・情報の提供や、参加・体験型による健康運動等の実施などの介護予防に資する適切な援助、指導

[単位：名]

事業	平成29年度	平成28年度
入浴事業	46,773	50,715
健康生活応援事業	35,301	33,512

カ 教養講座の開講

《各施設別参加人数》 [単位：名]

施設別利用回数	平成29年度	平成28年度
中央	20,394	23,254
東	22,631	23,381
白石	15,371	16,615
厚別	8,574	13,986
豊平	14,977	14,602
清田	18,160	18,348

南	10,705	10,522
西	16,898	18,056
延べ利用人数	127,710	138,764

キ レクリエーションの実施 [単位：名]

利用状況	平成 29 年度	平成 28 年度
卓球、囲碁、将棋、オセロ、トランプ、読書等	184,950	180,457

ク 各種行事の開催

高齢者が地域でいきいきと安心した生活を営める環境を形成するために、地域との協働による様々な行事を開催した。

[単位：名]

利用状況	平成 29 年度	平成 28 年度
各種行事	29,697	32,453

ケ 高齢者活動支援及び地域開放事業

センター空き室を積極的に開放し高齢者のサークル活動、地域住民による福祉活動の促進を図った。

《利用状況》

[単位：名]

施設	利用状況	平成 29 年度	平成 28 年度
中央	延べ利用人数	12,836	14,744
東	延べ利用人数	23,513	22,321
白石	延べ利用人数	17,817	17,850
厚別	延べ利用人数	12,668	18,944
豊平	延べ利用人数	11,346	11,184
清田	延べ利用人数	17,132	18,644
南	延べ利用人数	11,476	11,364
西	延べ利用人数	18,941	17,762
合計	延べ利用人数	125,729	132,813

ク 地域との交流の推進

高齢者が地域でいきいきと安心した生活を営める環境を形成することを目指して、地域との協働によるさまざまな活動を推進し、高齢者を核とした地域のまちづくりの拠点としての機能を形成していくため、地域との交流を推進した。

また、札幌市民福祉活動計画に基づき、各区社協との連携によりボランティア教室や介護サポーター養成研修を開催した。

サ AED(自動体外式除細動器)の設置

利用者の安全管理のため、各老人福祉センターにAED(自動体外式除細動器)を設置しており、適時使用方法の確認を行った。

(3) 老人休養ホーム札幌市保養センター駒岡管理運営事業
(札幌市指定管理者施設)

老人休養ホーム札幌市保養センター駒岡管理運営事業《C3》

高齢者等に対して、低廉で健全な保健休養及び生きがいを高めるための保養の場を提供することにより、高齢者等の心身の健康と福祉の増進を図り、健康で明るい生活を営むためのサービスを提供いたします。



また、平成28年4月からの指定管理者として当該施設の委託を受けております。

ア 施設概要

宿泊室 17 室、大広間、中広間、浴室、レストラン、売店、芝生広場、パークゴルフ場(屋外)、パットゴルフ場(屋外)

イ 利用状況 [単位：名]

各施設別利用回数	平成 29 年度	平成 28 年度
宿泊者数	10,226	10,772
休憩者数	88,272	90,104
朝市入場者数	3,665	4,866
来館者合計	102,163	105,742

※屋外パークゴルフ場、パットゴルフ場は台風による大雨の影響によりコースの一部が陥没し復旧の目途が立たないため、平成26年9月11日から休止

※8月13日～8月22日及び12月18日～12月24日の計17日間は、大浴場ダクト工事のため日帰り宴会・入浴中止、宿泊は浴室付客室のみの制限付利用とした

ウ 定員

宿泊 72 名

エ 事業内容

- a) 各種施設の利用提供に関する業務
 宿泊、休憩、レストラン、売店、屋外パークゴルフ・パットゴルフ場、娯楽、送迎
- b) 高齢者の生活相談、健康増進等に関する業務
 - ・生活・介護・福祉の相談 316 名
 - ・健康増進・介護予防講座・イベントの開催 115 名
- c) 介護や支援を要する方及びその介護を行う家族等への支援に関する業務
 - ・介護付き宿泊 79 名
 - ・入浴専用客室利用 577 名
 - ・常設福祉用具の体験、利用 1,359 名
- d) 高齢者等の社会参加機会の創出に係る業務
 - ・ボランティア活動の促進 487 名
 - ・就労支援の促進 547 名
 - ・特技・発表の場 56 名
- e) 交流促進に係る業務

・各種行事の開催

[単位：名]

実施月	行事名	参加人数
5月	もりの仲間の駒岡朝市(2回)	297
6月	交流日帰りバスツアー	27
	もりの仲間の駒岡朝市(2回)	184
7月	親子陶芸教室	10
	滝野散策・ジャムづくり体験	4
	もりの仲間の駒岡朝市(2回)	164
8月	星空観察会	31
	駒岡の自然をしよう(夏)	7
	もりの仲間の駒岡朝市(2回)	122
9月	駒岡秋まつり	2,372
	もりの仲間の駒岡朝市(2回)	102
10月	こまおかの自然を知ろう「秋」	14
	もりの仲間の駒岡朝市	255
	講座まつり	283
11月	もりの仲間の駒岡朝市	169
	こまおか囲碁大会	19
12月	麻雀大会	40
	親子陶芸教室	16
1月	新春書初め展	11
	美文字講座	14
2月	こまおか冬まつり	623
	切り絵講座	6
	美文字講座	12
	ファットバイク	28
3月	ビリヤード大会	11
	駒岡の自然をしよう(冬)	11
	アイヌ刺繍講座	8
	切り絵講座	8
	美文字講座	13

f) 教養講座の開講に関する業務

[実施状況] [単位：名]

講座名	参加人数
書道	246
切り絵	56
絵手紙	31
あへあほ体操	227
合唱	234
カラオケ	603
水彩画	235
英会話	1,283
ビリヤード	565
ヨガ	710
声出して本を読もう	69

ペン習字	189
初心者麻雀	1,076
歌いましょう	74
陶 芸	1,860
講座計	7,458

3 連帯意識の向上と関係者が連携したネットワーク活動の実現

〔1〕地域活動団体、施設及び専門機関との連携の推進

(1) 地域福祉ネットワーク事業

○地域福祉のネットワークづくりの支援【再掲：1〔1〕(2)】

(2) 札幌市介護保険サービス事業所連絡協議会の運営支援

(3) 札幌市介護支援専門員連絡協議会への協力

〔2〕地域包括支援センター及び介護予防センターとの連携強化

(1) 地域包括支援センターの運営【再掲：2〔3〕(3)②】

(2) 介護予防センターの運営【再掲：2〔3〕(3)③】

(3) 地区福祉のまち推進センター支援事業【再掲：1〔2〕】

①地域の個別問題の解決に向けた仕組みづくりの検討

②福祉のまち推進センターと地域包括支援センター及び介護予防センターの連携強化

〔3〕福祉情報の共有化と有効活用の推進

(1) 広報誌「やさしい街」発行事業

〔発行回数〕 6回

〔発行部数〕 110,100部

(2) ホームページ運営事業

〔内 容〕 ボランティア情報、福祉のまちづくり情報、福祉用具情報、ふれあい・いきいきサロン紹介、相談窓口、本・ビデオ紹介、区社協ページ、総合センター貸室情報、広報誌紹介
他

(3) 情報センター管理運営事業

①利用促進と地域、学校への情報提供

≪利用状況≫

	平成 29 年度	平成 28 年度
開館日数 (日)	293	293
貸出利用者数 (名)	9,437	9,053
1日平均	32	31
貸出冊数 (冊)	29,202	26,524
1日平均	100	91
新規登録者 (人)	306	297

《登録者数》 [単位：名・団体]

	平成 29 年度	平成 28 年度
個人	15,597	15,217
福祉団体	77	69
その他団体	18	18

②福祉関連図書の充実と利便性の向上

○資料室の運営（図書資料サービス） [単位：冊・本]

	平成 29 年度	平成 28 年度
図書資料蔵書数	22,487	22,861
ビデオ・DVD	926	959

③自主事業（読み聞かせ等）による広報啓発、情報提供

○情報センター朗読会の開催

《親子で楽しむ朗読会》 [単位：回・名]

	平成 29 年度	平成 28 年度
開催回数	3	3
参加者数	125	97

《大人のための朗読会》 [単位：回・名]

	平成 29 年度	平成 28 年度
開催回数	3	5
参加者数	564	388

④図書ボランティアの育成と受入 [単位：名・回]

	平成 29 年度	平成 28 年度
登録者数	9	10
活動回数	66	69

⑤学生レポーター事業

[学生レポーター登録数] 4名

[ミーティング回数] 13回

ア 「学生レポーター通信」の発信

本会ホームページを活用し、今までにない学生の視点から福祉に関する身近な話題や取材記事を随時発信

イ 「読書通帳」の発行

読んだ本の記録を残すための「読書通帳」を作成、無償配布。

ウ 情報紙「ウェルウェル」の発行（2回）

エ 「図書福袋」の貸出

大人向け、小中学生向け、幼児向けの3種類を貸出

オ 「覆面本フェア」の実施

タイトルが見えないよう包装した本の貸出

カ 「おしごと体験会」の開催

小学校高学年を対象に、「司書体験」「ボランティア体験」「しおりづくり」を実施

4 社会参加の促進と福祉啓発の推進

〔1〕社会参加の促進

(1) 福祉用具利用促進事業

①福祉用具等の展示及び相談

ア 福祉用具関連企業連絡会
第1回

〔開催日〕 12月19日 〔出席者〕 17社19名

第2回

〔開催日〕 3月6日 〔出席者〕 16社16名

②福祉用具リサイクル事業

《利用状況》

〔単位：件〕

		平成29年度	平成28年度
福祉用具 リサイクル	譲ってください登録	122	96
	譲りませ登録	107	127
	成立件数	75	77

③福祉用具特設展示及び講演会の開催

ア 福祉用具機器展 in さっぽろ2017の開催

福祉用具機器展 in さっぽろの開催《A3(8)》

高齢者や障がい者の方々が住み慣れた地域で安全安心に暮らしていくために、「福祉用具」を身近なものとして知ってもらうために、福祉用具に関する展示に加え介護・福祉に関する講座・セミナーなどを開催する



〔開催日〕 平成29年11月17日、18日

〔場所〕 社会福祉総合センター

〔内容〕 福祉用具関連企業48社による最新の福祉用具の展示と体験

〔参加者〕 2日間の開催で延べ1,300名

イ 福祉用具展示ホール 月イチイベント事業（毎月第2土曜日）

福祉機器展示ホールを活用したイベント行事の開催 〔単位：名〕

実施日	イベント名	参加人数
4/8	ポールウォーキング講習会	32
5/13	排せつケア講習会	49
6/10	ストレッチ運動講習会「心も身体もしなやかに」	27
7/8	腰痛予防と福祉用具講習会	20
8/12	食べるは楽し	27
9/9	水分の重要性	25
10/14	意外！高齢者は低栄養？正しく食事を見直そう	44
12/9	映像に合わせて楽しく運動してみませんか？ ～フィールドゥを使って～	22
1/13	福祉用具を作ろう	33
2/10	腸内フローラ講習会	46
3/10	集音器講習会	25

(2) 札幌市高齢者福祉バス事業

《運行状況》

	平成 29 年度	平成 28 年度
延べ運行台数 (台)	455	469
延べ利用者数 (人)	15,163	15,623

○高齢者福祉バス運営委員会

平成 30 年 1 月 24 日 13:30～15:00 社会福祉総合センター 1 階研修室

○高齢者福祉バス抽選会

平成 30 年 3 月 22 日 13:00～15:30 社会福祉総合センター 4 階大研修室

(3) 働く障がい者表彰事業

障がい者関係団体ネットワーク事業の実施《A3(2)》

障がい者団体等との懇談の実施及び関係者同士が情報交換できる場の提供を行い、障がい者団体等（当事者、事業者など）との連携を強化し、障がいへの理解の促進を図ります。



(4) 障がい者の日記念事業に対する協力

(5) 人権セミナーに対する協力

(6) 障がい者講師養成・派遣事業の実施【再掲：1〔5〕(1)⑬】

(7) 障がい当事者スピーチマラソンの開催【再掲：1〔5〕(1)⑭】

(8) 障がい者のスポーツ・遊び体験事業の実施【再掲：1〔5〕(1)⑮】

(9) 精神保健福祉事業への協力

〔2〕福祉啓発の推進

市民への福祉情報の提供と広報・啓発活動の充実強化《A3(1)》

地域福祉やボランティア活動に関する情報の有効活用を推進し、広報誌やホームページの活性化を図ります。



(1) 札幌市社会福祉大会の開催

〔開催日〕 平成 29 年 7 月 4 日

〔場 所〕 わくわくホリデーホール（札幌市民ホール）

〔内 容〕 記念講演「ペコロスの母に会いに行く
～認知症の母と過ごした日々～」

講師 漫画家 岡野 雄一 氏

表彰式

〔参加者〕 1,400 名

(2) 広報誌「やさしい街」発行事業【再掲：3〔3〕(1)】

(3) ホームページ運営事業【再掲：3〔3〕(2)】

(4) 情報センター管理運営事業【再掲3〔3〕(3)】

(5) 広報戦略会議の設置運営

- 〔組織〕 15名の職員が3チーム体制で活動
(専門アドバイザー)
株式会社桐光クリエイティブ代表取締役 吉田聡子 氏
- ①ブランディングチーム
②人材確保定着化チーム
③ホームページチーム
- 〔活動〕
- ・内部広報「今日のイイネ」
 - ・キャッチコピー集の作成
 - ・各種広報研修の開催
 - ・専門学校向けのリクルートチラシの作成
 - ・ホームページリニューアルに向けた検討
 - ・シンボルマークの作成・制定
 - ・福迫会長と語る会開催

5 社会福祉事業関係者への支援と各センターの管理運営

〔1〕社会福祉施設への支援（施設福祉部会事業）

(1) 社会福祉施設新人職員セミナーの開催

- 〔開催日〕 平成29年7月28日
- 〔内容〕 ①研修会 テーマ「接遇マナーについて」
講師 株式会社アムリプラザ 取締役 坂井 礼子 氏
- ②交流会「会食・ゲーム」
- 〔参加者〕 92名（85名）

(2) 社会福祉施設職員救急法セミナーの開催

- 〔開催日〕 平成29年8月21日～23日
- 〔場所〕 社会福祉総合センター
- 〔内容〕 普通救命講習Ⅱ（4時間）
- 〔参加者〕 合計 128名

(3) 大都市社会福祉施設協議会への参加

- 〔開催日〕 平成29年7月20日～21日
- 〔場所〕 横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ
- 〔テーマ〕 「大都市における社会福祉施設が果たす役割とは
～地域における公益的な活動を考える～」
- 〔内容〕 運営協議会、基調講演、種別研究会、総会 他
- 〔参加者〕 9名
- 社会福祉法人 札幌慈啓会
専務理事・総合施設長 加藤 敏彦 氏
- 社会福祉法人 聖静学園 石山センター
施設長 芝木 厚子 氏

社会福祉法人 鶴翔福社会 きさく苑
 施設長 伊藤 敏幸 氏
 社会福祉法人 西平和会
 理事長 前鼻 守 氏
 札幌市私立保育園連盟
 会長 菊地 秀一 氏
 社会福祉法人 札幌明啓院施設長
 山田 智己 氏
 社会福祉法人 札幌愛隣館 札幌あいりん荘
 施設長 岩井 誠一 氏
 本会職員 2名

(4) 社会福祉施設内定者向け合同オリエンテーション【新規】

〔開催日〕 平成30年2月24日
 〔場 所〕 社会福祉総合センター
 〔内 容〕 **【第一部】**
 ①講演「社会人として求められる人材とは」
 講師：札幌大学客員教授（元FM北海(AIR-G)常務取締役）
 中田 美知子 氏
 ②体験発表
【第二部】
 テーブル交流
 〔参加者〕 77名

(5) 課題解決事業の開催

〔開催日〕 平成29年11月17日
 〔場 所〕 社会福祉総合センター
 〔テーマ〕 福祉職場の省力化
 〔内 容〕 **【説明・実演】**
 ①介護負担の軽減について
 講師：フランスベッド株式会社
 ②福祉職場の働き方改革
 講師：株式会社ドコモCS北海道
 〔参加者〕 45名

〔2〕 区社協及び各種団体への助成

(1) 区社協助成事業

(2) 各種団体助成事業

〔3〕 介護保険事業所および介護施設等に勤務する職員への支援

○札幌市介護職員人材定着化事業（研修）

市内の介護保険事業所に従事する介護職員等の離職を防ぎ、介護現場の人材定着を目的に介護職員等の労働環境づくりに役立つ研修を実施。

研修回数	19
受講人数	1,290

ア メンタルヘルス研修

〔開催日〕 平成29年9月15日、10月5日、11月15日 全3回

〔内容〕 メンタルヘルス対策として認知行動療法を学ぶ ほか

〔人数〕 182名

イ 認知症介護基礎知識研修

〔開催日〕 平成29年10月11日、11月28日、12月6日 全3回

〔内容〕 知識を身に付け、認知症介護への不安を解消する ほか

〔人数〕 299名

ウ 職場における腰痛予防対策

〔開催日〕 平成29年10月17日

〔内容〕 腰痛を起こさない介護・看護技術、予防体操 ほか

〔人数〕 63名

エ 介護職員等に必要法律の基礎知識

〔開催日〕 平成29年10月26日、11月15日 全2回

〔内容〕 法律の基礎知識習得と介護事故への対応 ほか

〔人数〕 147名

オ コミュニケーションスキル・接遇向上研修

〔開催日〕 平成29年10月31日、11月28日 全2回

〔内容〕 コミュニケーション技法、接遇の基本 ほか

〔人数〕 158名

カ コーチング研修

〔開催日〕 平成29年9月22日、11月22日 全2回

〔内容〕 パラダイムシフトコミュニケーション、コーチング ほか

〔人数〕 138名

キ 事業所交流ワークショップ

〔開催日〕 平成29年12月6日、平成30年1月18日 全2回

〔内容〕 業界内で横のつながりを作り人間関係をサポートする ほか

〔人数〕 61名

ク クレーム対応研修

〔開催日〕 平成29年12月8日

〔内容〕 クレーム対応スキル ほか

〔人数〕 117名

ケ モチベーション向上研修

〔開催日〕 平成29年9月13日、平成30年1月16日 全2回

〔内容〕 職員のモチベーションを効果的に向上させる手法

〔人数〕 97名

コ 介護ロボット導入研修

〔開催日〕 平成29年12月8日

〔内容〕 人材不足解消や人材定着化のための基礎知識

〔人数〕 54名

〔4〕各センターの管理運営

（1）札幌市社会福祉総合センター管理運営事業（札幌市指定管理者施設）

ア 施設利用状況

《会議室等〔利用状況〕》

〔単位：団体・人〕

階	種 別	平成 29 年度		平成 28 年度		
		団体数	利用人数	団体数	利用人数	
1	保育センター		2,050		1,996	
	ひとり親家庭支援センター	1,551	15,981	1,565	17,532	
	アトリウム	283		211		
2	中央老人福祉センター		61,012		60,851	
	シルバー人材センター		20,249		20,505	
3	相談コーナー		1,321		1,551	
	情報センター	貸人数		9,437		9,053
		貸冊数		29,202		26,524
	中国帰国者生活相談室		4,323		5,254	
	日常生活自立支援事業		448		953	
	法人後見事業		605		682	
	成年後見制度利用支援事業		3,031		2,740	
	市民後見推進事業		2,221		2,165	
	障害者あんしん相談		2,843		2,616	
	高齢者虐待相談		102		28	
	福祉サービス苦情相談センター		518		145	
	障がい者虐待相談		151		418	
	4	ボランティア活動センター	1,280	11,850	1,352	12,687
福祉用具展示ホール			8,987		9,015	
5	運動浴室	476	5,378	481	5,704	
会議室	大研修室	493	47,089	560	54,398	
	第1会議室	693	4,740	711	5,519	
	第2会議室	546	8,043	616	8,573	
	第3会議室	567	7,522	639	8,437	
	特別会議室	539	3,388	602	4,385	
	視聴覚兼会議室	470	11,469	511	12,922	
	視察団体	16	203	14	244	
合 計 (貸冊数は除く)		6,914	232,961	7,262	248,373	

イ 相談コーナー〔相談状況〕

〔単位：件〕

相 談 内 容	内 訳	相談件数	
		平成 29 年度	平成 28 年度
認知症高齢者介護相談（毎週金曜日）		221	246
母子相談	就業相談 (年末年始を除く毎日)	7,565	7,565
	法律相談 (第2・4水曜日, 要予約)	135	191
	心療相談 (第3日曜, 水曜日, 要予約)	17	20
	一般相談 (年末年始を除く毎日)	1,028	1,217

	父子相談 (火・木曜日、祝日の場合は土曜)	46	68
	小 計	8,791	9,061
一 般	ふくし無料法律相談 (毎月第1・第3木曜日)	13	15
	年金相談 (毎週火曜日)	13	6
	合 計	9,038	9,328

ウ 運動浴室〔使用状況〕 [単位：団体・名]

	平成 29 年度	平成 28 年度
団 体 数	476	481
使用人数	5,378	5,704

エ 福祉用具展示ホール

○福祉用具利用促進事業【再掲：4〔1〕(1)】

オ アトリウム活用促進の取り組み

- 福祉販売（開催日数：180日／出展事業所：延べ436事業所）
NPO法人さっされんと連携し、障がい当事者が、食品や雑貨などを販売
- 手話講座（開催日数：24日／参加者数：延べ1,096名）
公益社団法人札幌聴覚障害者協会と連携し、日常会話で使える単語などを気軽に学べる講座を開催
- 介護講座（開催日数：24日／参加者数：延べ284名）
介護事業部・地域包括部によるワンポイント講座及び相談を実施
- コンサート（開催日数：2日／参加者数：延べ310名）
NPO法人奏楽、他本会賛助企業の協力によりミニコンサートを開催。普段総合センターに来館しない方も多く来所。
- クリスマスイベント（開催日数：1日／参加者数130名）
市内で活動している団体の協力によりハンドベルコンサートを開催。
- 消費トラブル防止講座（開催日数：6日／参加者数：延べ62名）
消費者協会の活動の場として総合センターのアトリウムを提供。紙人形を使い分かりやすい講座を開催。
- 相談・団体PR（開催日数：44日／訪問者数：延べ477名）
福祉関係団体が活動紹介や相談を受ける場として活用

(2) 札幌市情報センター管理運営事業【再掲：3〔3〕(3)】

(3) ボランティア活動センター運営事業【再掲：1〔5〕(1)】

6 社協組織の運営

経営強化の取り組み《D1》

26年度の札幌市福祉事業団との合併により、25年から進めてきた福祉3団体（札幌市社会福祉協議会、札幌市在宅福祉サービス協会、札幌市福祉事業団）の再編統合が完了し、介護保険事業等の在宅福祉サービス事業と施設を中心とした高齢者福祉サービス事業を実施しております。事業運営にあたっては、運営基準などの各種法令を遵守すると共に、一定の採算性をもった効率的な運営が求められるため、必要な判断を適切に行うための経営会議を実施します。



〔1〕事務局体制等の充実強化

（1）事務の効率化の促進

○ 経営会議の開催 7回

（2）諸規程及び内規類の整備による管理機能強化

（3）職員研修の実施（内部研修、外部研修、資格取得支援）

職員育成の強化《D2》

3団体再編統合により、介護保険事業等の在宅福祉サービス事業と施設を中心とした高齢者福祉サービス事業を実施することから、これまで以上に多様な知識・技術等を習得し、資質の向上を図る必要があります。

これまでの新任、中堅、管理職を中心とした職員研修等を実施するとともに、専門職としての知識及び技術の向上を図るための職員研修の充実を図ります。



研修区分	回数	受講者数 派遣者数
内部研修	119回	延べ 1,923名
外部（派遣）研修	76回	延べ 449名

① 内部研修（採用・新任等職員研修）

ア 新任職員採用時研修（「組織研修」と「専門研修」）

〔開催日〕 a) 組織研修：職員研修計画に基づき毎月1回実施（全11回）

b) 専門研修：各専門職員採用時随時（41回）

〔内容〕 社協の組織と関係規程・規則等、事業概要の説明
社協職員として身に付けておくべき基本的なスキル ほか

〔人数〕 237名

イ 新任係長職研修

〔開催日〕 平成29年4月28日

〔内容〕 係長職の責務と役割 ほか

〔人数〕 5名

- ウ 新任事務職員研修
 - 〔開催日〕 平成29年4月18日～20日（3日間）
 - 〔内容〕 職務遂行に必要な基本的な知識と特に地域福祉を推進するCSWとしての必要な知識や技術ほか
 - 〔人数〕 8名
- エ 新任調査センター第1種専門職員研修
 - 〔開催日〕 平成29年5月30日
 - 〔内容〕 チーフの役割 ほか
 - 〔人数〕 2名
- オ 新任主任ヘルパー職研修（第2種専門職員）
 - 〔開催日〕 平成29年4月14日
 - 〔内容〕 主任ヘルパーの役割と心構えについて
 - 〔人数〕 1名
- カ 新任居宅介護支援事業所第1種専門職員研修
 - 〔開催日〕 平成29年5月9日
 - 〔内容〕 相談センター第1種専門職員としての役割と心構え ほか
 - 〔人数〕 5名
- キ 中堅係長職研修（2日間）
 - 〔開催日〕 第1回：平成29年7月3日 第2回：8月4日
 - 〔内容〕 中堅係長職の責務と役割 ほか
 - 〔人数〕 13名

② 内部研修（専門職研修）

- ア 第1種・第2種専門職員研修
 - 〔開催日〕 平成29年4月17日
 - 〔内容〕 第1種・第2種専門職員の職務と役割
 - 〔人数〕 26名
- イ 第2種専門職員研修
 - 〔開催日〕 平成29年4月27日（午前午後計2回）
 - 〔内容〕 第2種専門職員の職務や役割について
 - 〔人数〕 47名
- ウ 調査センター介護保険事務に関わる職員研修（第2種嘱託・契約職員）
 - 〔開催日〕 平成29年6月12日
 - 〔内容〕 市町村からの当該調査事務受託法人としての役割を理解する
 - 〔人数〕 11名
- エ ヘルパーセンター職員アセスメント研修
 - 〔開催日〕 平成29年7月10日、11日、19日
 - 〔内容〕 訪問介護・居宅介護提供に必要な知識の習得
 - 〔人数〕 103名
- オ 地域包括支援センター職員予防プラン研修
 - 〔開催日〕 平成29年7月13日
 - 〔内容〕 現在の課題と今後の目標 ほか
 - 〔人数〕 16名
- カ 調査センター職員クレーム研修
 - 〔開催日〕 平成29年8月23日

- 〔内 容〕 調査員としての適切なクレーム対応
 〔人 数〕 162名
- キ 相談センター職員スキルアップ研修（実践編）
 〔開催日〕 平成29年8月24日、9月26日、27日
 〔内 容〕 ケアマネとして必要な実践的な知識・技術の習得
 〔人 数〕 60名
- ク 主任ヘルパー職研修
 〔開催日〕 平成29年9月12日
 〔内 容〕 対人援助技術レベルアップ
 〔人 数〕 22名
- コ 地域包括支援センター職員予防プラン研修2
 〔開催日〕 平成29年10月11日、18日、19日
 〔内 容〕 介護予防プラン、総合事業プラン作成における理解を深める
 〔人 数〕 114名
- サ 調査センター中堅職員研修1
 〔開催日〕 平成29年10月31日
 〔内 容〕 新人教育の情報交換、中堅職員の役割とは
 〔人 数〕 14名
- シ コミュニケーションスキル向上研修
 〔開催日〕 平成29年10月13日、17日、11月17日で全4回
 〔内 容〕 対人援助技術のスキルアップを図る
 〔人 数〕 104名
- ス 調査センター中堅職員研修2
 〔開催日〕 平成29年11月29日
 〔内 容〕 適正な要介護認定調査の向上と、指導的役割の促進を図る
 〔人 数〕 80名
- セ アサーション研修
 〔開催日〕 平成29年11月13日、14日、15日、16日、17日
 〔内 容〕 組織や参加者の活性化、協働を促進させ、かつ自己の考え方を的確に相手に伝える技術を養う
 〔人 数〕 280名
- ソ フォローアップ研修
【地域包括支援センター職員】
 ・採用後3ヵ月
 〔開催日〕 平成29年7月12日、10月18日、2月14日
 〔内 容〕 振返り、現在の課題と今後の目標 ほか
 〔人 数〕 23名
【調査センター職員】
 ・採用後6ヵ月
 〔開催日〕 平成29年8月29日、2月8日
 〔内 容〕 振返り、面接技術のスキルアップ ほか
 〔人 数〕 8名
【ヘルパーセンター職員】
 ・主任ヘルパー昇任後6ヵ月

- 〔開催日〕 平成29年10月17日
 〔内容〕 主任ヘルパー業務の理解促進を図る ほか
 〔人数〕 1名
- ・サービス提供責任者採用後1ヵ月
 〔開催日〕 平成29年5月25日
 〔内容〕 専門性の基礎と指導者としての自覚を養う
 〔人数〕 3名
 - ・サービス提供責任者採用後3ヵ月
 〔開催日〕 平成29年7月21日、2月9日
 〔内容〕 活動を振り返り業務の理解促進を図る
 〔人数〕 12名
 - ・サービス提供責任者採用後6ヵ月
 〔開催日〕 平成29年10月26日
 〔内容〕 振り返り、サービス提供責任者業務の理解促進 ほか
 〔人数〕 8名
 - ・サービス提供責任者採用後1年
 〔開催日〕 平成30年2月21日
 〔内容〕 振り返り、サービス提供責任者業務の理解促進 ほか
 〔人数〕 6名
 - ・サービス提供責任者採用後2年
 〔開催日〕 平成29年8月23日
 〔内容〕 振り返り、サービス提供責任者業務の理解促進 ほか
 〔人数〕 9名
 - 【ヘルパーセンター職員（サービス提供責任者採用後3年）】
 〔開催日〕 平成29年7月27日
 〔内容〕 振り返り、サービス提供責任者業務の理解促進 ほか
 〔人数〕 6名
 - ・第5種嘱託職員採用後3ヵ月
 〔開催日〕 平成29年5月、8月、11月、2月
 〔内容〕 ヘルパー業務の基本を再確認
 〔人数〕 25名
 - 【居宅介護支援事業所職員】
 ・採用後6ヵ月
 〔開催日〕 平成29年7月、11月、2月（各月2日間）
 〔内容〕 振り返り、ケアマネジャー業務の理解促進 ほか
 〔人数〕 14名
- ③ 内部研修（一般研修）
- 【助成金制度を学ぶ研修】各係長職、各実務担当職員、経理担当職員
 〔開催日〕 平成29年6月13日
 〔内容〕 本会事業の積極的な運営を進めるにあたり、厚労省・全社協・札幌市・公益財団などで実施している各種の助成金制度を有効に活用するための情報の入手方法と具体的な申請技法などを学び、安定的な財源確保を図る
 〔人数〕 25名

【「地域創生」について理解するための研修】

地域福祉部門管理職及び係長、各区事務局長及び次長、ほか

〔開催日〕 平成29年7月12日

〔内容〕 地域福祉を推進するために必要となる考え方について学ぶ

〔人数〕 61名

【コンプライアンス研修】札幌市社会福祉総合センター内に勤務する職員

〔開催日〕 平成29年8月24日

〔内容〕 公共施設内で発生する事故のリスク管理全般について。
コンプライアンスに対する意識を高め、リスク管理について再確認する。

〔人数〕 18名

【障害者差別解消法関連研修】札幌市社協職員、各区社協職員

〔開催日〕 平成29年9月14日

〔内容〕 障害者差別解消法を理解する

〔人数〕 27名

【広報研修：第1回】各課・各区社協で広報活動を担当している職員

〔開催日〕 平成29年8月4日

〔内容〕 “伝わる”写真の撮り方

〔人数〕 27名

【広報研修：第2回】各課・各区社協で広報活動を担当している職員

〔開催日〕 平成29年10月27日

〔内容〕 取材の仕方・記事の書き方

〔人数〕 24名

【ファンドレイジング研修：第1回】

各係長職、各区事務局次長、ほか寄付・賛助会費担当職員

〔開催日〕 平成29年9月25日

〔内容〕 これからの地域社会と公共
～財源を確保して社会的使命を達成する～

〔人数〕 26名

【ファンドレイジング研修：第2回】課長職以上、事業所長、各区事務局長、
総務部・地域福祉部の係長職、ほか寄付・賛助会費担当職員

〔開催日〕 平成29年9月25日

〔内容〕 地域福祉のプロに人生の集大成としての社会貢献を託す時代
～遺贈～

〔人数〕 50名

【クレーム対応研修】全職員対象

〔開催日〕 平成30年2月20日

〔内容〕 悪質クレマーの見分けかた、悪質クレームに発展させない
テクニックや不当要求に屈しない対応手順、対応スキル

〔人数〕 85名

④ 各委員会主催の研修

ア サービス向上委員会能力強化部主催

【ファシリテーション研修】

〔開催日〕 平成30年1月22日、29日（午前・午後）全3回

〔内容〕 実務能力向上を図るため、リーダー的存在となれる職員育成の一環としてリーダー的役割を担う職員を対象に、リーダーとして効果的・効率的な仕事の進め方を学ぶ

〔人数〕 120名

イ セーフティマネジメント委員会主催

【リスクマネジメント研修】 各係長職及び区社協事務局次長

〔開催日〕 平成30年2月28日

〔内容〕 きづきシートの活用からリスクマネジメントへの具体的取り組みを学ぶ。～きづきシートの組織内浸透を目指す～

〔人数〕 35名

⑤ 部外（派遣）研修

〔研修数〕 76回

〔人数〕 延べ449名

〔主催者〕 北海道社会福祉協議会、北海道地域ケアマネジメントサービス、北海道ホームヘルプサービス、札幌市介護保険サービス連絡協議会、全国社会福祉協議会、ほくろう福祉協会、札幌市介護支援専門員連絡協議会、札幌市自立支援協議会、お茶の水ケアサービス学院、日本福祉アカデミー

（４）市社協事業連携会議の開催

〔２〕役員会等組織の運営

（１）理事会・評議員会及び監事会の開催

① 理事会・評議員会

【第1回理事会】

〔開催日〕 平成29年4月1日

〔場所〕 社会福祉総合センター

〔内容〕 会長、副会長及び常務理事の選定について

【第2回理事会】

〔開催日〕 平成29年5月29日

〔場所〕 社会福祉総合センター

〔内容〕 平成28年度事業報告、平成28年度決算報告、平成28年度監事監査報告、諸規程の改正、理事・監事候補者の選定、評議員候補者の選定、会計監査人の選任及び報酬、平成29年度第1回評議員会の招集について 等

【第1回評議員会】

〔開催日〕 平成29年6月14日

〔場所〕 社会福祉総合センター

〔内容〕 平成28年度事業報告、平成28年度決算報告、平成28年度監事監査報告、諸規程の制定、理事・監事の選任、会計監査人の選任 等

【第3回理事会】

〔開催日〕 平成29年6月14日

〔場 所〕 社会福祉総合センター

〔内 容〕 会長、副会長及び常務理事の選定、諸規程の一部改正

【第4回理事会（書面による決議）】

〔理事会の決議があったものとみなされた日〕

平成29年10月27日

〔理事会の決議があったものとみなされた内容〕

平成29年度第2回評議員会の招集について、第2回評議員会の提案事項に対する承認について

【第5回理事会】

〔開催日〕 平成29年12月6日

〔場 所〕 札幌市医師会館

〔内 容〕 札幌市民福祉活動計画の策定、生活支援体制整備事業第2層運營業務の受託、南区第3地域包括支援センター運營業務の受託、定款の変更について、諸規程の制定及び改正 等

【第2回評議員会】

〔開催日〕 平成29年12月6日

〔場 所〕 札幌市医師会館

〔内 容〕 札幌市民福祉活動計画の策定、生活支援体制整備事業第2層運營業務の受託、南区第3地域包括支援センター運營業務の受託、定款の変更について 等

【第6回理事会】

〔開催日〕 平成30年2月23日

〔場 所〕 札幌すみれホテル

〔内 容〕 不動産（空き家）を活用した新規事業の実施及び施設整備について、さっぽろ市民福祉活動計画の策定について、平成29年度第3回評議員会の招集について 等

【第7回理事会】

〔開催日〕 平成30年3月28日

〔場 所〕 札幌市医師会館

〔内 容〕 さっぽろ市民福祉活動計画の策定について、中期経営計画[第2期]の策定について、平成30年度事業計画（案）について、平成30年度資金収支予算（案）について、諸規程の改正について、評議員候補者の選定について 等

【第3回評議員会】

〔開催日〕 平成30年3月28日

〔場 所〕 札幌市医師会館

〔内 容〕 さっぽろ市民福祉活動計画の策定について、中期経営計画[第2期]の策定について、平成30年度事業計画（案）について、平成30年度資金収支予算（案）について、諸規程の制定及び改正について、理事の選任について 等

② 監事会

【第1回】 平成29年5月22日

- 〔内 容〕 平成28年度決算監査
- 【第2回】 平成29年9月22日
- 〔内 容〕 第1四半期監査
- 【第3回】 平成29年11月27日
- 〔内 容〕 第2四半期監査
- 【第4回】 平成30年2月15日
- 〔内 容〕 第3四半期監査

(2) 評議員選任・解任委員会の開催

- 【第1回評議員選任・解任委員会】
- 〔開催日〕 平成29年6月14日
- 〔場 所〕 社会福祉総合センター
- 〔内 容〕 評議員の選任について
- 【第2回評議員選任・解任委員会】
- 〔開催日〕 平成29年12月21日
- 〔場 所〕 社会福祉総合センター
- 〔内 容〕 評議員の選任について

(3) 部会の運営

○施設福祉部会【再掲：5〔1〕】

(4) 各委員会の開催

① さっぽろ市民福祉活動計画の策定推進

「さっぽろ市民福祉活動計画」の策定推進《A3(8)》

「さっぽろ市民福祉活動計画」は、お互いに支え合うやさしい街づくりの実現に向けて”を基本理念として、社会福祉協議会が市民の皆様や関係機関と連携して取り組んでいく活動をまとめたものです。現行の計画期間が平成29年度で終了することに伴い、次期計画の策定準備を進めます。



ア 策定委員会の設置

- 【第3回策定委員会】 平成29年6月20日
- 【第4回策定委員会】 平成29年8月21日
- 【第5回策定委員会】 平成29年10月31日
- 【第6回策定委員会】 平成29年12月19日
- 【第7回策定委員会】 平成30年2月9日

イ 策定作業グループ（事務局）設置

- 【第7回策定作業グループ会議】 平成29年6月15日
- 【第8回策定作業グループ会議】 平成29年8月21日
- 【第9回策定作業グループ会議】 平成29年10月23日
- 【第10回策定作業グループ会議】 平成29年12月21日

ウ 地域福祉に関する地区意見交換会（札幌市と合同）

- 【開催日】 6月下旬～7月下旬
- 【開催地区】 10地区（中央区：宮の森大倉山地区、北区：幌北地区、東区：伏古本町地区、白石区：北白石地区、厚別区：青葉地区、豊平区：月寒地区、清田区：清田地区、南区：南沢

地区、西区：八軒中央地区、手稲区：手稲地区)

【内 容】札幌市地域福祉社会計画・さっぽろ市民福祉活動計画の改定について説明。地域の福祉活動に関する意見交換。

〔5〕市社協・区社協連絡会議の開催

① 市・区社協会長会議

【第1回】 平成29年9月6日

〔場 所〕 札幌すみれホテル

〔内 容〕 「さっぽろ市民福祉活動計画の策定について」、「生活支援体制整備事業について」

② 市・区社協各種会議

ア 法人運営連絡調整会議（年4回開催）

イ 事務局長会議（毎月1回開催）

ウ 係長会議（毎月1回開催）

エ 連絡調整会議（原則毎週1回開催）、担当者会議（随時開催）

オ 地域包括ケア・介護事業本部幹部会議（毎月1回開催）

カ 包括センター長、調査センター所長、事業所長会議（毎月1回開催）

〔3〕会員の加入促進

①正会員の整備と賛助会員の増員

ア 賛助会員数推移

	平成29年度	平成28年度
団 体	51団体、115.5口	32団体、38口
個 人	216名、315口	183名、260口

②ファンドレイジングによる実践取組

ファンドレイジングの取り組み《A3（9）》

財政面からの組織マネジメントについて協議・検討を行い、ファンドレイジング力の底上げを図ると共に、外部研修等も活用し職員のファンドレイザーとしての育成を進めます。



ア 内部研修

【再掲：6〔1〕（3）③】

イ ファンドレイザー育成

【ファンドレイジング・日本2018（外部研修）】

〔開 催 日〕 平成30年3月17、18日

〔内 容〕 ファンドレイジングの全てが学べる、アジア最大のファンドレイジング会議

講 師 三菱総合研究所 理事長 小宮山 宏 氏 等

〔参加職員〕 1名

③賛助企業との連携事業

ア 株式会社アトリエテンマ

〔内 容〕 障がい者のためのデザインワークショップ

株式会社アトリエテンマ代表取締役・デザイナーの長谷川演氏の指導の下、市内障がい者就労支援事業所利用者15

名がフォトフレームを作成し、自身のお気に入りの写真を入れて福祉用具機器展 in さっぽろ 2017 の会場で展示
イ 株式会社太陽グループ【再掲：1〔5〕(1)⑮】

〔4〕各種基金等の管理・運営

社会福祉基金、矢館福祉基金、八重樫福祉基金、種田福祉基金、仁和福祉基金、根っ子の会福祉基金、愛情銀行

①社会福祉基金等運営委員会の開催

【第1回】平成29年11月29日

〔場所〕社会福祉総合センター

〔内容〕「平成29年度種田・八重樫福祉基金助成の審査について」
「平成29年度事業実施状況について」「平成29年度各種基金運用状況について」

【第2回】平成30年3月6日

〔場所〕社会福祉総合センター

〔内容〕「平成29年度事業実施状況・運用状況について」「種田・八重樫福祉基金助成報告について」「平成30年度各種基金運用益充当事業予算(案)について」「平成30年度債券運用について」「社会福祉基金等運営委員会委員の選任について」

〔5〕札幌市民生委員児童委員協議会との連携及び事業に対する協力

〔会員数〕2,843名

①理事会及び専門部会の開催

②札幌市民生委員児童委員大会及び研修会の開催・参加

③広報活動

④民生委員制度創設100周年各種事業の実施

〔6〕札幌市福祉友の会との連携及び協力

〔会員数〕130名

①社会福祉向上のための協力参加

②研修会の開催

③会員相互の協調親睦

〔7〕札幌市老人福祉施設協議会との連携及び協力

〔会員数〕100施設

①役員会、施設長会議の開催

②各種研修会の開催・参加など

③災害支援及び災害対応

〔8〕札幌市身体障がい者福祉事業連携協議会との連携及び協力

〔会員数〕13施設

①総会、役員会、会議の開催

②各種研修会の開催

③合同避難訓練の実施、災害支援及び災害対応

〔9〕札幌市共同募金委員会との連携及び募金運動に対する協力

		平成 29 年度	平成 28 年度	比較増△減
募金実績		96,109,217 円	99,229,479 円	△3,120,262 円
内 訳	一般募金	93,542,787 円	96,506,090 円	△2,963,303 円
	歳末募金	2,566,430 円	2,723,389 円	△156,959 円

①会長会議、運営理事会の開催

②感謝状贈呈式の開催

③助成の実施

④各種募金運動・広報活動の実施

⑤第 1 回歳末チャリティーカラオケ大会（130 名参加）

平成 29 年 12 月 20 日 10：30～15：30 大研修室

募金額 129,584 円